

# ボルカノフロー

## ビギナーズガイド

店員が一生懸命作りました。



VULKANO FLOW

## INDEX

---

## 第1章 準備 4

---

## 第2章 接続 5

---

2-1	AV機器の接続	5
2-1-1	コンポジット接続する場合（標準画質）	5
2-1-2	コンポーネント接続する場合（高画質）	6
2-2	IR（赤外線通信）ケーブルの接続	8
2-3	ネットワークルーターの接続	9
2-4	電源ケーブルの接続	10

---

## 第3章 ボルカノフロー本体の設定 11

---

3-1	Windowsパソコンを同じネットワーク内でLAN接続	11
3-2	パソコン用ソフト「Vulkano Player for PC」をダウンロードして、Windowsパソコンにインストール	11
3-3	ボルカノフロー本体のセットアップ	16

---

## 第4章 リモコンの設定 20

---

4-1	リモコンの学習機能の設定	20
4-1-1	ボルカノフロー本体の設定が正常に終了できなかった場合	24
4-2	リモコン設定ファイルの保存・読み込み	25

---

## 第5章 映像やTVの視聴 28

---

5-1	パソコンでの視聴	28
5-2	Android端末での視聴	33
5-2-1	プレーヤーソフトの入手	33
5-2-2	設定と視聴	35
5-3	iPhone端末での視聴	40
5-3-1	プレーヤーソフトの入手	40
5-3-2	設定と視聴	42
5-4	iPad端末での視聴	46
5-4-1	プレーヤーソフトの入手	46
5-4-2	設定と視聴	48

---

## 第6章[番外編] ネットワークの設定 53 (ポートの手動開放の方法について)

---

6-1	ネットワークの設定が正常に行えなかった場合	53
6-2	NTT西日本のフレッツ・光プレミアムをご利用の場合	59
6-3	NTT西日本のフレッツ・光プレミアムでセキュリティ対策ツール をインストールされている場合	68
6-4	NTT東日本のフレッツ・光 (VDLSルーター「RV-230SE」) をご利用の場合	70

## 第1章 準備

ボルカノフローを使用するためには、以下の環境や機器を準備する必要がありますので、設定前にご確認いただくと、スムーズに作業を進められます



1. ボルカノフロー（本体及び付属品一式）
2. LAN環境（有線LAN必須。UPnPに対応したルーターを推奨）
3. テレビ視聴環境（接続するAV機器）
4. インターネット接続環境
5. Windowsパソコン
6. スマートフォンやiPad（映像や音声を視聴する端末）

### 用語解説

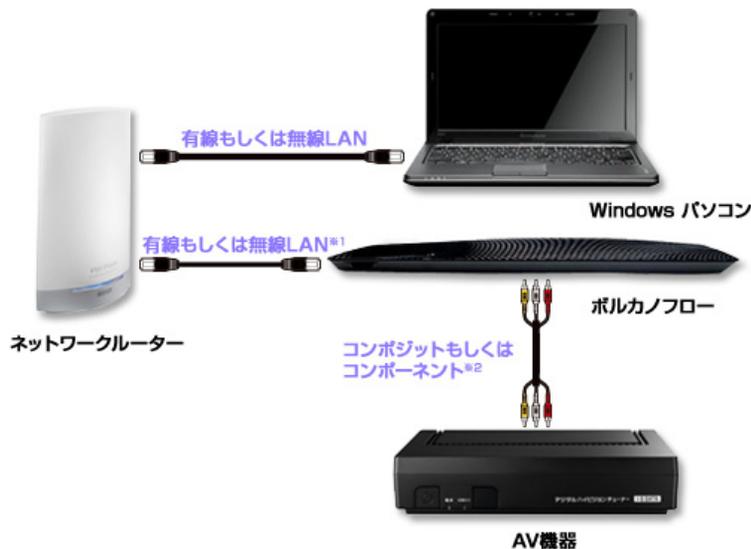
UPnP（Universal Plug and Play）とは、パソコンやAV機器、家電などを家庭内のネットワークにLAN接続するだけで自動的に相互利用（認識）できるようにする機能です。

## 第2章 接続

準備ができましたら、まずはボルカノフロー本体の設置と配線を行います。

ここではテレビ視聴環境として、アイ・オー・データ機器のテレビチューナー「HVTR-BTL」を使って説明します。

### 【接続イメージ】



※1

初めてボルカノフローのセットアップを行う際は、有線LAN接続となります。

※2

HVT-BTRLはコンポーネントケーブルの接続端子がないため、当店で販売しているD端子⇔コンポーネント変換ケーブルをお買い求めください。またコンポーネント接続する場合は、音声入出力用にコンポジット端子ケーブルの赤と白の端子も接続する必要があります。

### 2-1. AV機器の接続

#### 2-1-1. コンポジット接続する場合（標準画質）



赤・白・黄のコンポジット端子は多くのAV機器が備えている一般的な映像端子です。AV機器側のコンポジット出力端子と、ボルカノフローのコンポジット入力端子をコンポジットケーブルで接続します。

まず、HVTR-BTL背面のコンポジット出力端子にコンポジットケーブルを接続します。

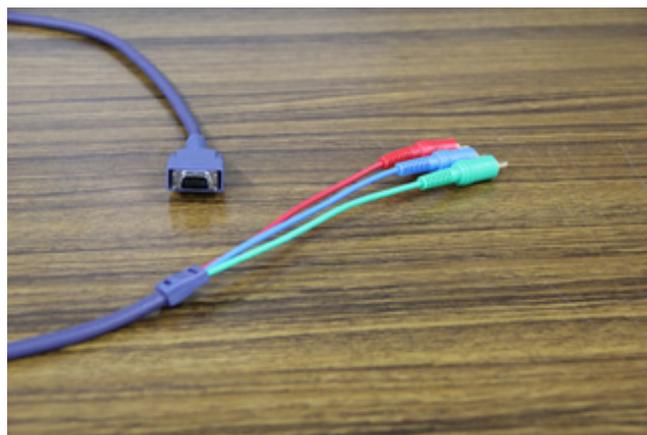


次に、ボルカノフローの入力端子にもう片方のコンポジットケーブルを接続します。



これでボルカノフローとHVTR-BTLがコンポジットケーブルで接続されました。

## 2-1-2. コンポーネント接続する場合（高画質）



接続するAV機器にコンポーネント端子、もしくはD端子がある場合は、より高画質な映像を視聴することができます。AV機器側の出力端子がD端子の場合は、左図のD端子⇔コンポーネント変換ケーブルをご利用下さい。



ポルカノフロー側の  
コンポーネント入力端子

コンポーネントケーブルは映像のみを転送するケーブルの為、音声の転送にP.6のコンポジットケーブルの赤と白の端子を使用します。

ここではポルカノフロー側のコンポーネント入力端子とAV機器側のD映像出力端子を接続します。



AV機器側のD映像出力端子

HVTR-BTL側のD出力端子にD端子ケーブルと、音声用にコンポジットケーブルの赤と白の端子も忘れずに接続します。



これでポルカノフローとHVTR-BTLがコンポーネント接続（高画質）されました。

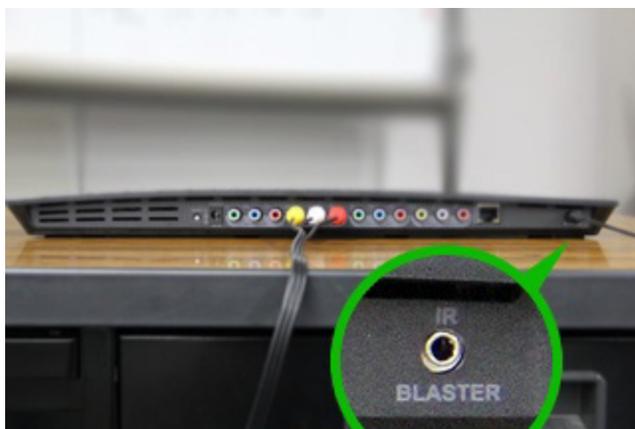
## 2-2. IR（赤外線通信） ケーブルの接続



IRケーブルは、ポルカノフローに接続したAV機器のリモコン信号を送信するためのケーブルです。ポルカノフローのIR端子にIRケーブルを接続し、IRケーブルの先端をAV機器の赤外線受光部付近に両面テープなどで貼り付けます。こうすることで、普段のリモコン操作と同じ感覚でポルカノフローに接続したAV機器を遠隔操作できるようになります。

### ワンポイント

接続するAV機器の赤外線受光部の場所が分からない場合は、メーカーの取扱説明書をご確認ください。



IR端子

ポルカノフロー背面のIR端子はこの位置にあります。



接続するAV機器（HVTR-BTL）の赤外線受光部の近くに、IRケーブルの先端を両面テープで貼り付けます。

### ワンポイント

赤外線信号を受信しやすくするため、接続するAV機器に応じてIRケーブルの先端を左図のように上下に配置するなどして工夫してください。



## 2-3. ネットワークルーターの接続

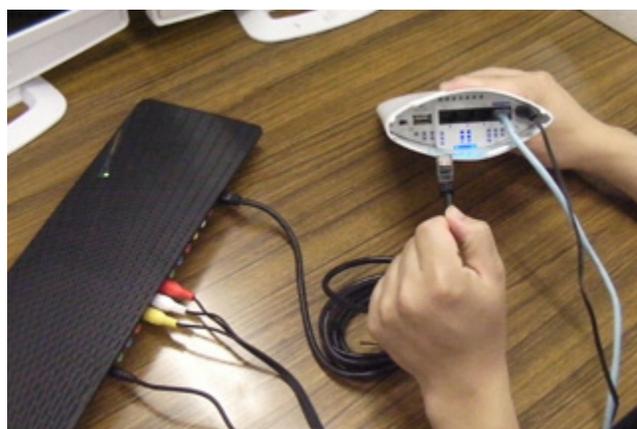


ボルカノフローとネットワークルーターをLANケーブルで接続します。ボルカノフローは無線LAN接続にも対応していますが、初めて設定を行う場合は有線LANを使用しますので、必ず有線LAN接続をしてください。

ボルカノフローのLAN端子（Ethernet端子）は、左図の位置にあります。



今回はアイ・オー・データ機器の無線LANルーター「WN-G300DGR」を使用して説明いたします。



ボルカノフローと「WN-G300DGR」を有線LANケーブルで接続します。



これで、ボルカノフローと「WN-G300DGR」を有線LANケーブルで接続されました。

## 2-4. 電源ケーブルの接続



付属のACアダプターと電源ケーブルを接続します。



ボルカノフロー本体裏面に電源ケーブルを接続します。



電源ケーブルを接続すると自動的に電源が入り、POWERランプが赤色に点滅します。しばらくすると点滅から常時点灯に変わります。

### ワンポイント

ボルカノフロー本体に電源スイッチはありません。電源をOFFにするには、電源ケーブルを抜いてください。

## 第3章 ボルカノフロー本体の設定

### 3-1. Windowsパソコンを同じネットワーク内でLAN接続



ボルカノフロー本体の設定にはWindowsパソコンが必要となります。Windowsパソコンとネットワークルーターを有線LANケーブル、もしくは無線LANで接続し、同じネットワーク内に接続された状態にします。

※対応OSは、Windows XP、Windows Vista、Windows 7です。

### 3-2. パソコン用ソフト「Vulkano Player for PC」をダウンロードして、Windowsパソコンにインストール

【必ずダウンロードしてください】 Vulkano Player for PC (無料)

VULKANO FLOW本体をセットアップするため、「Vulkano Player for PC」をダウンロードした際、同時に入手可能な「Vulkano Setup Wizard」が必須です。Windows PCで再生視聴を行わない場合でも、まず「Vulkano Player for PC」をダウンロードします。「Vulkano Player for PC」は米Monsoon Multimedia社のサイトから無料で直接ダウンロードいただけます。

【1】 こちらのボタンから、米Monsoon Multimedia社のサイトへ移動してください。

ダウンロードサイトはこちら

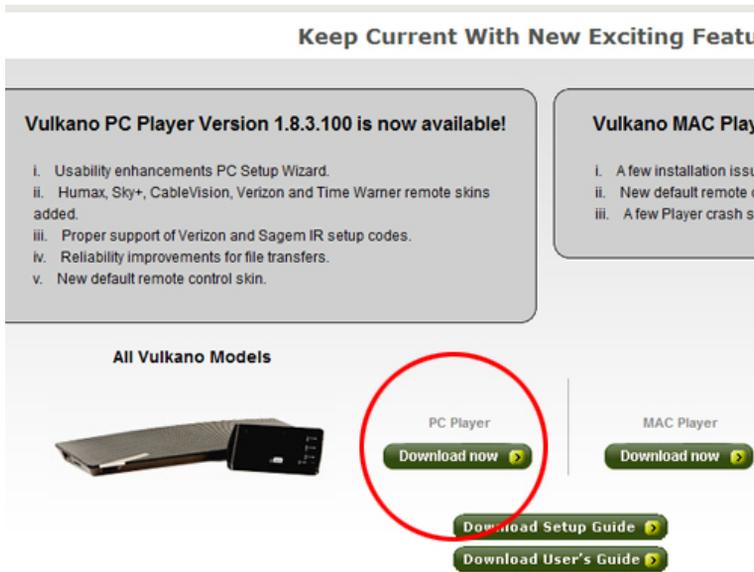
【2】 商品のラインナップが掲載されていますので、  
「All Vulkano Models」のPC Playerの緑ボタン(Download now)をクリックして、ダウンロードしてください。

<米Monsoon Multimedia社のサイトページ>

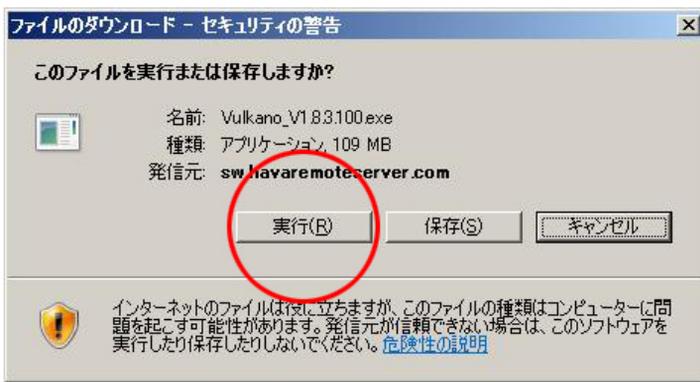
Vulkano Player for PCダウンロードボタン  
右側の「Download now」をクリックして、ダウンロードしてください。

PC Player  
Download now

下記URLより、「Vulkano Player for PC」の「ダウンロードサイトはこちら」ボタンをクリックしてください。  
<http://www.ioplaza.jp/shop/contents/vulkano.aspx#player>



Monsoon社のサイト（英語）に移動しますので、「PC Player」の方の「Download now」をクリックします。



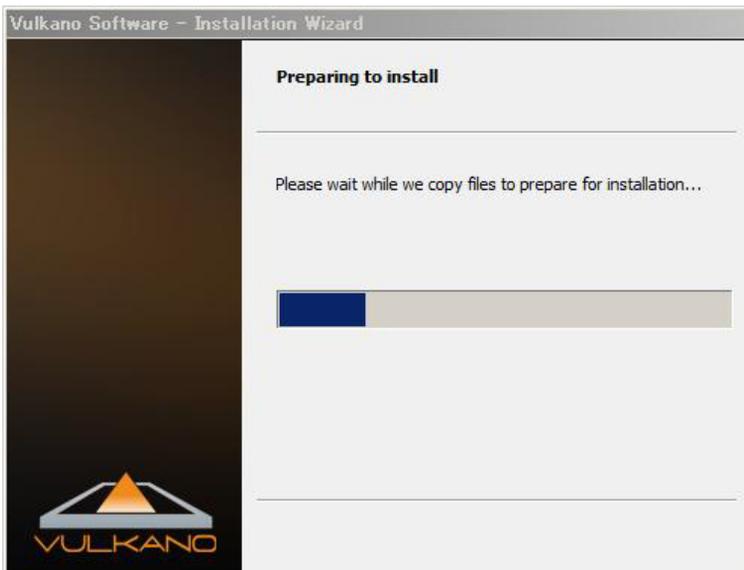
ファイルのダウンロードウィンドウが立ち上がりますので、「実行」ボタンをクリックします。

**ワンポイント**

「実行(R)」ボタンを押してからファイルのダウンロードに時間がかかる場合は、再度「保存(S)」ボタンより、ファイルのみをダウンロードしてみてください。保存したファイルをダブルクリックすると、インストールが開始されます。



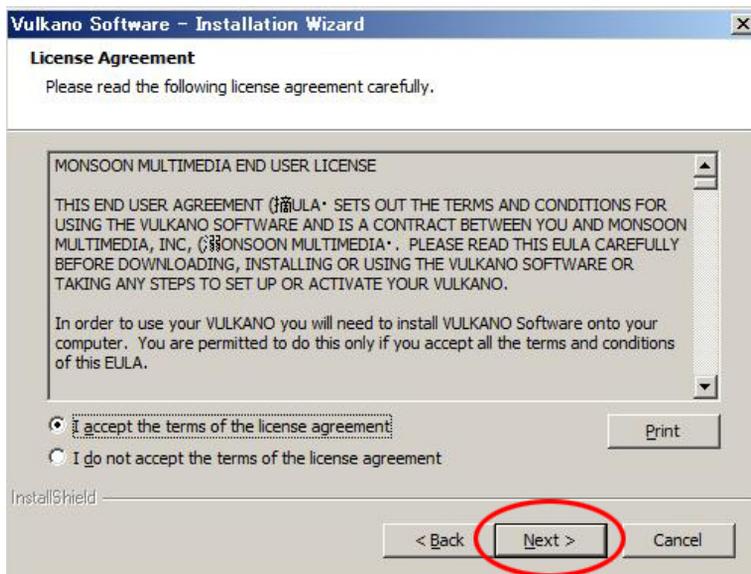
「実行する」ボタンを選択します。



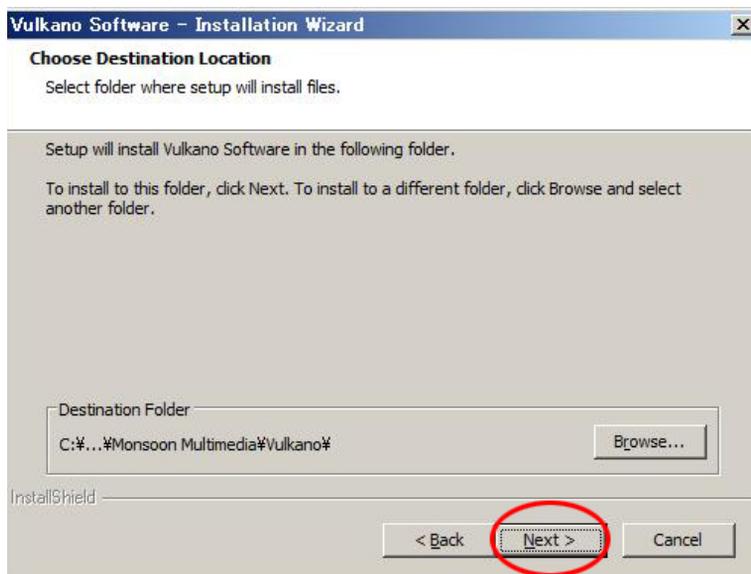
ソフトウェアをダウンロードし、自動的にインストールが始まります。



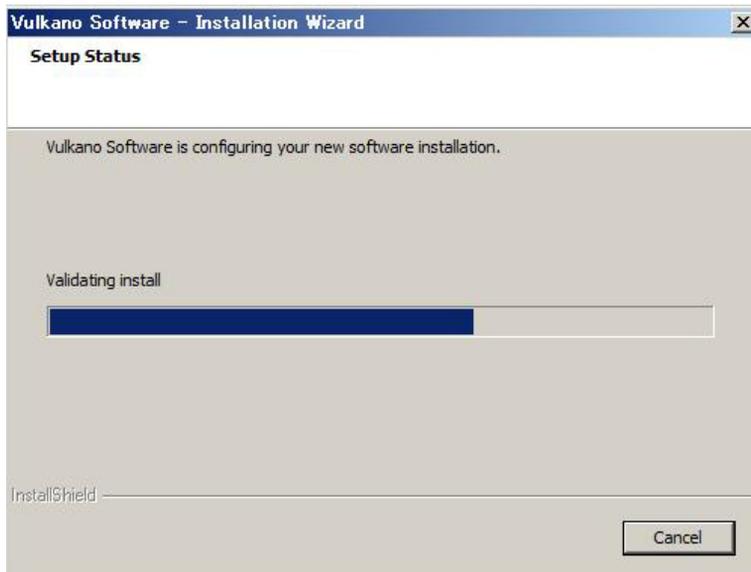
「Welcome to Vulkano Installation Wizard」という画面が表示されたら、「Next」ボタンをクリックします。



左図の利用規約の画面が表示されるので、「I accept the terms of the license agreement」にチェックをして「Next」ボタンをクリックします。



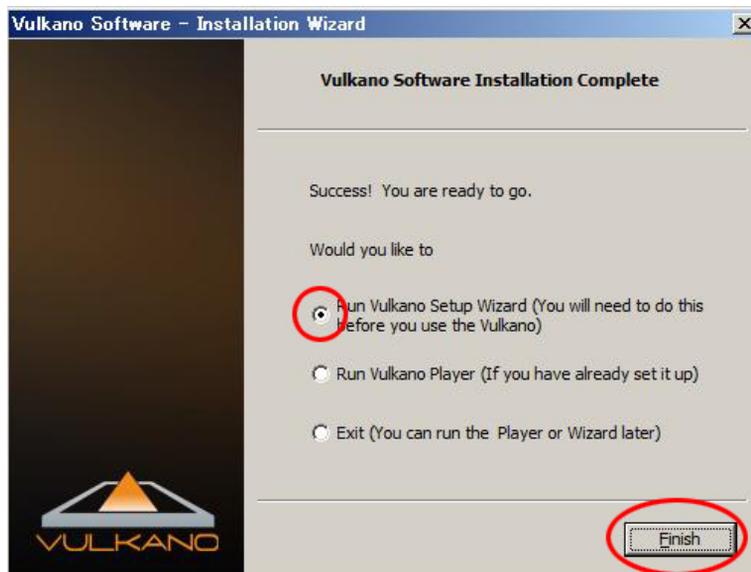
インストール先のフォルダを指定するウィンドウが表示されますので、そのまま「Next」ボタンをクリックします。



左図の画面が表示されましたら、インストールが開始されます。終了するまでしばらく待ちます。



次にドライバが自動的にインストールされますので、こちらも終了するまでしばらく待ちます。



インストールが終了すると、左図の「Vulkano Software Installation Complete」という画面が表示されます。引き続きボルカノフロー本体のセットアップを行うので、「Run Vulkano Setup Wizard」にチェックを入れて、「Finish」ボタンをクリックします。また各選択肢の表示内容は下記の通りとなります。

•Run Vulkano Setup Wizard (You will need to do this before you use the Vulkano)

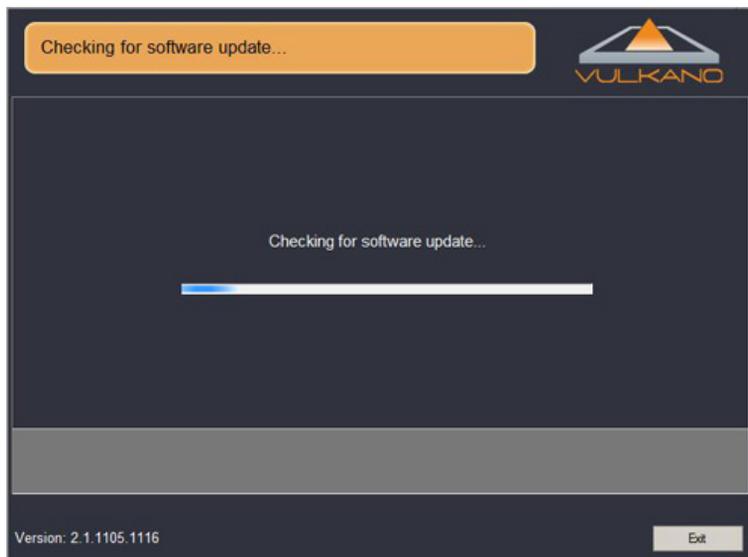
ボルカノフローのセットアップウィザードを開始します。今すぐセットアップを開始したい場合は、これを選択します。

•Run Vulkano Player (If you have already set it up)

Vulkano Playerを起動します。Vulkano Playerで映像を視聴するには、事前にセットアップを済ませておく必要があります。

•Exit (You can run the Player or Wizard later)

ボルカノフローのセットアップを今すぐ行わず、後で実行する場合に選択します。デスクトップに「Vulkano Setup Wizard」というアイコンが作成されていますので、後でセットアップを行いたいときはこのアイコンをクリックします。

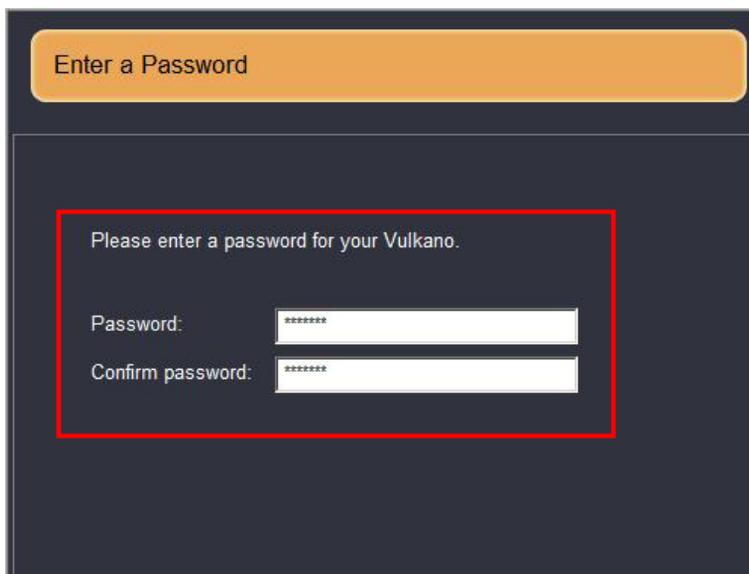


「Finish」ボタンを押すと、自動的にソフトウェアが最新バージョンのものか確認が行われます。



パソコンとボルカノフローとの接続確認が行われますので、しばらく待ちます。

### 3-3. ボルカノフロー本体のセットアップ

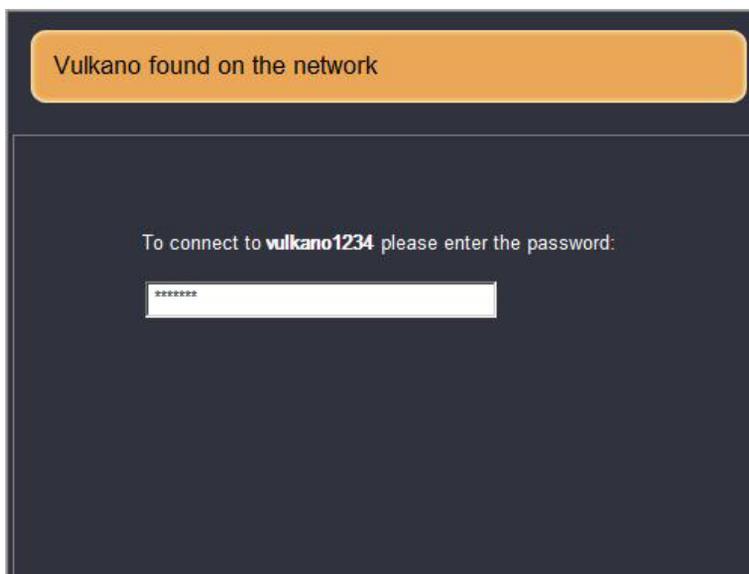


セットアップウィザードの初回起動時には、パスワード設定画面が表示されます。

「Password:」項目に任意のパスワードを入力し、「Confirm password:」に同じパスワードを確認のため、入力してください。

#### ワンポイント

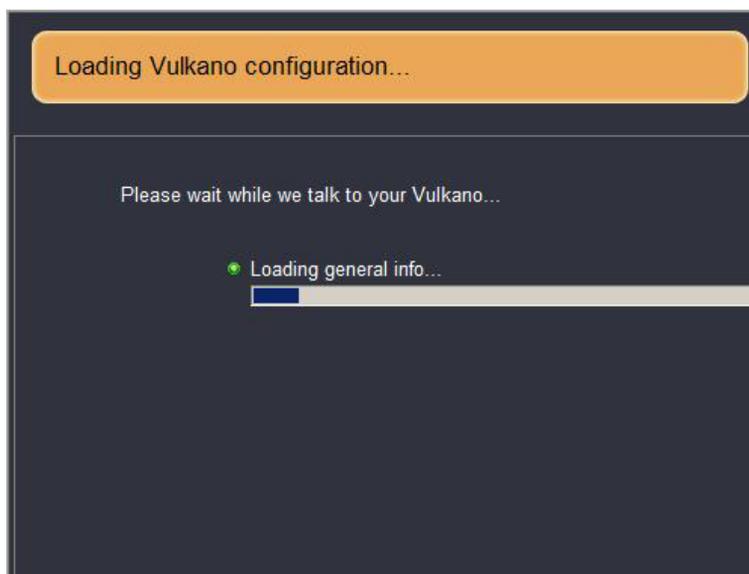
パスワードはメモをとるなどして、必ず忘れないようにしてください。



#### ワンポイント

#### 【セットアップウィザードを2回目以降に起動した場合】

2回目以降に起動した場合は、左のようにパスワードを入力する画面が表示されます。初回起動時に設定したパスワードを入力して「Next」ボタンをクリックしてください。



左図の画面が表示されましたら、パソコンとボルカノフローとの接続が開始されます。



接続が完了すると、ボルカノフロー本体とネットワークルーターとの無線LAN接続の設定画面が表示されます。

ここで無線LAN接続の設定を行うとボルカノフロー本体とパソコンが無線LAN接続で使用できるようになります。パソコンでAV機器の映像を視聴される場合や、セットアップウィザードでの設定もワイヤレスで行えるので大変便利です。

**ワンポイント**

有線LAN接続で使用される場合は、「skip」ボタンをクリックしてP.19の一番最後の項目にお進みください。



(1) はじめに「Available networks」にチェックを入れ、ボルカノフローと接続するネットワークルーターを選択します。

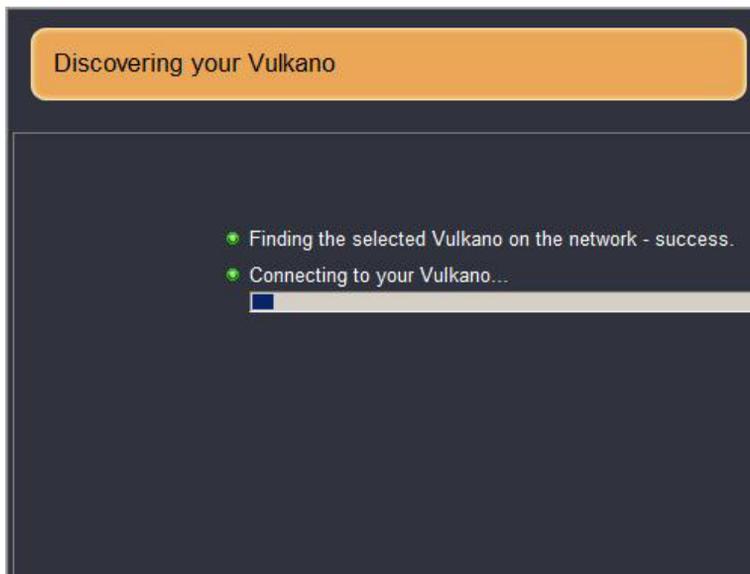
※ネットワークルーターが「Available networks」の選択リストで表示されない場合は、「Not in the list (hidden SSID)」にチェックを入れ、ネットワークルーターのSSIDを手動で入力してください。

(2) つぎに「Network Key or passphrase」の項目にネットワークキー（暗号化キー）を入力し、「Next」ボタンをクリックします。

**ワンポイント**

ネットワークルーターのSSIDとネットワークキー（暗号化キー）はネットワークルーター底面に記載のシールよりご確認ください。

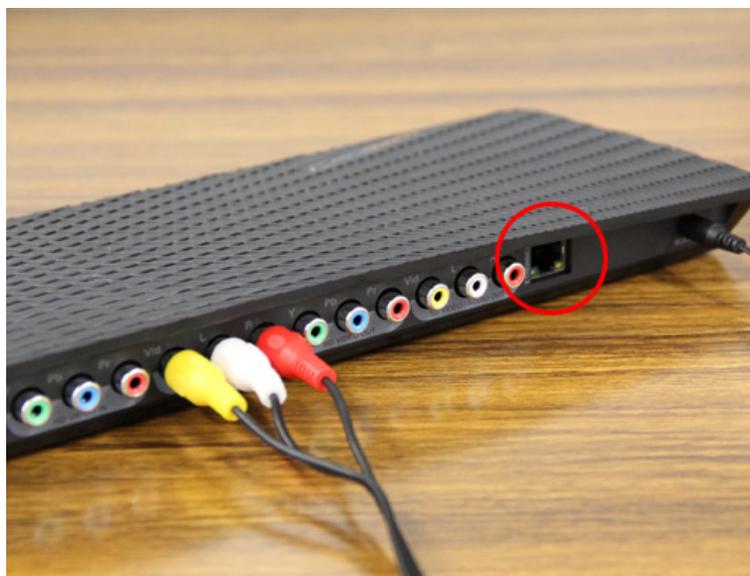




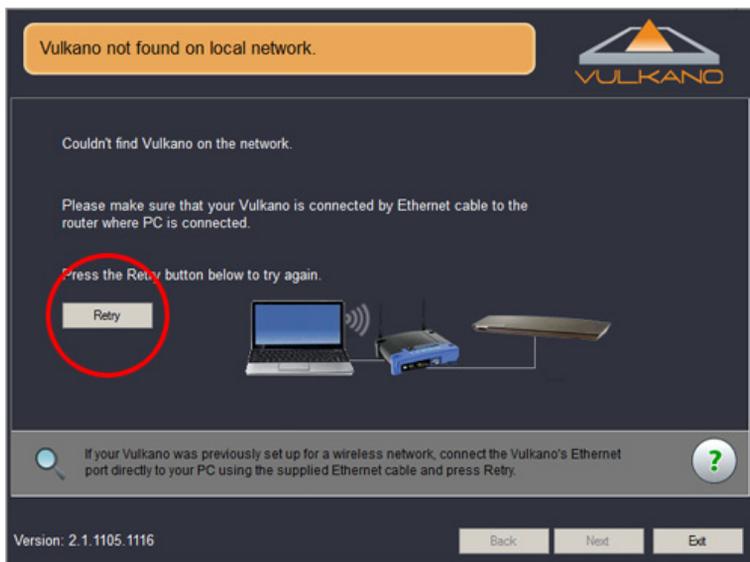
左図の画面が表示されましたら、ボルカノ  
フロー本体とネットワークルーターの接続  
確認が行われますので、しばらく待ちます。



正常に無線LAN接続されると、「Connect  
to Set Top Box」という画面が表示され  
ますので、有線LANケーブルを外して  
「Next」ボタンをクリックします。

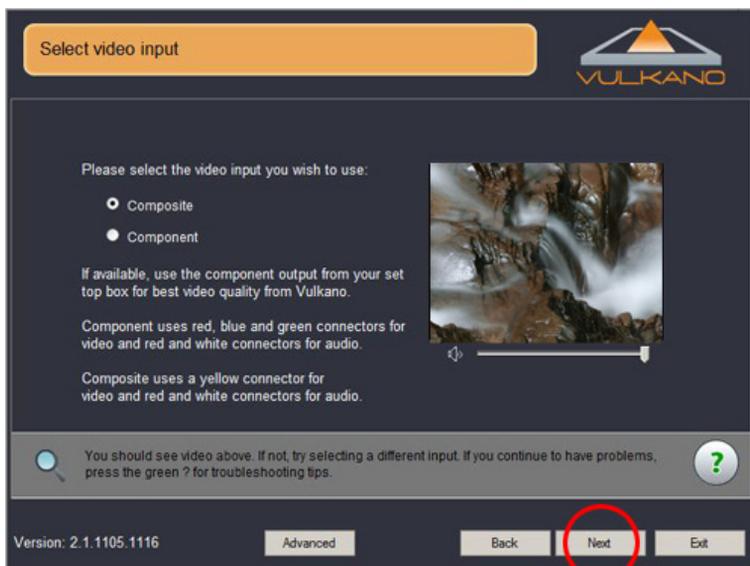


ここから先は無線LANを使いますので、有  
線LANケーブルは外します。



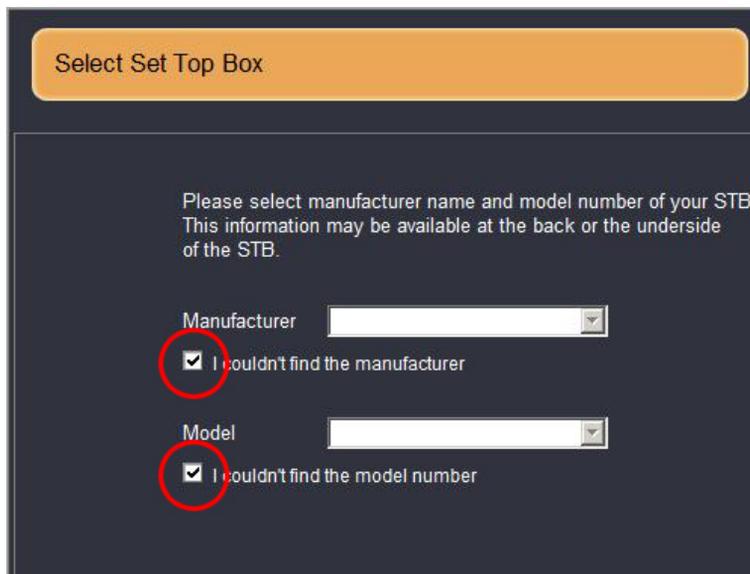
**注意**

左図の画面が表示された場合は、ネットワークルーターとボルカノフロー本体、パソコンがネットワーク接続されていない可能性がございます。それぞれの機器が有線LANケーブルで正しく接続されているかご確認ください。



P.5[2-1]で接続した映像入力端子の選択画面が表示されますので、Composite (コンポジット) 接続もしくはComponent (コンポーネント) 接続の、実際に接続した方を選択して「Next」ボタンをクリックします。

←接続したAV機器の映像が表示されます。

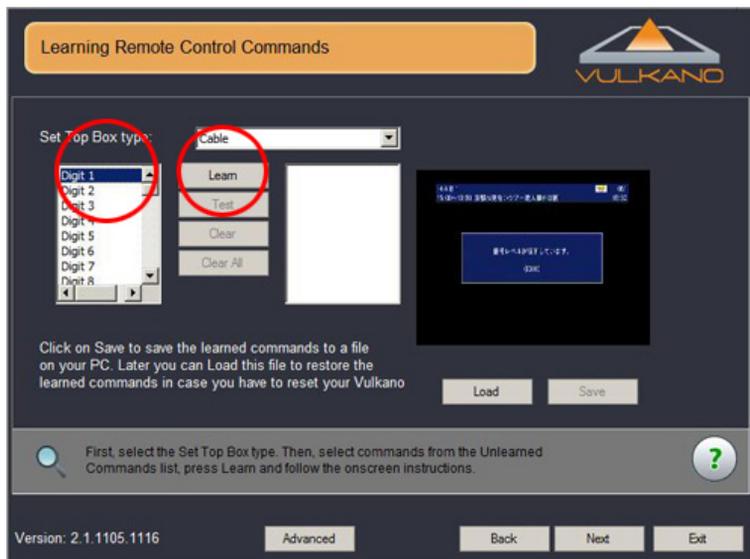


次に、接続したAV機器（TVチューナーやレコーダー）のメーカーと機種を選択する画面が表示されますが、国内モデルは未対応のため、「I couldn't find the manufacturer」「I couldn't find the model number」にチェックを入れて「Next」ボタンをクリックします。

# 第4章 リモコンの設定

## 4-1. リモコンの学習機能の設定

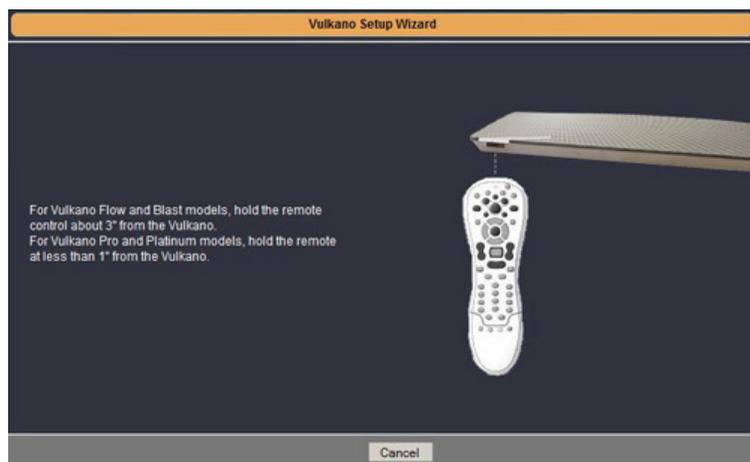
ここからはリモコンの学習機能の設定を説明します。



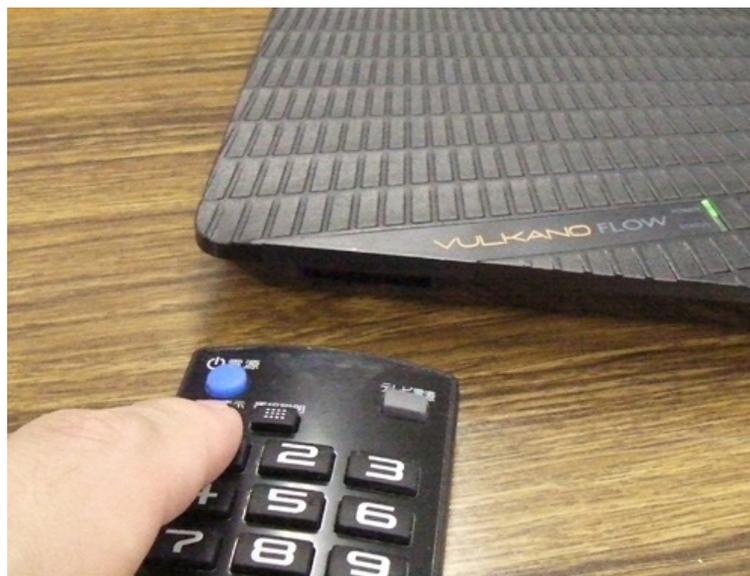
はじめに、「Set Top Box type」は、「Cable」を選択します。そのほかの「Satellite/DSS」、「Digital Video Disk」なども選択できますがここでは「Cable」を選択した内容で紹介します。

左側に表示されている「Digit 1、Digit 2、…、Power、Menu、Exit」という各項目に、接続したAV機器のリモコン信号（各ボタン）を学習させることができます。

ここではまず、接続したAV機器のリモコンの「1」ボタンを登録したいので、左側の選択項目より「Digit 1」を選択し、「Learn」ボタンをクリックします。



左図の画面が表示されるので、AV機器（HVTR-BTL）のリモコンの「1」ボタンをボルカノフロー本体左側の赤外線受光部に向けて押します。



左図のようにリモコンをまっすぐ向けてボタンを押します。



ボルカノフロー本体がリモコン信号の受信に成功すると左図のウィンドウが表示されます。

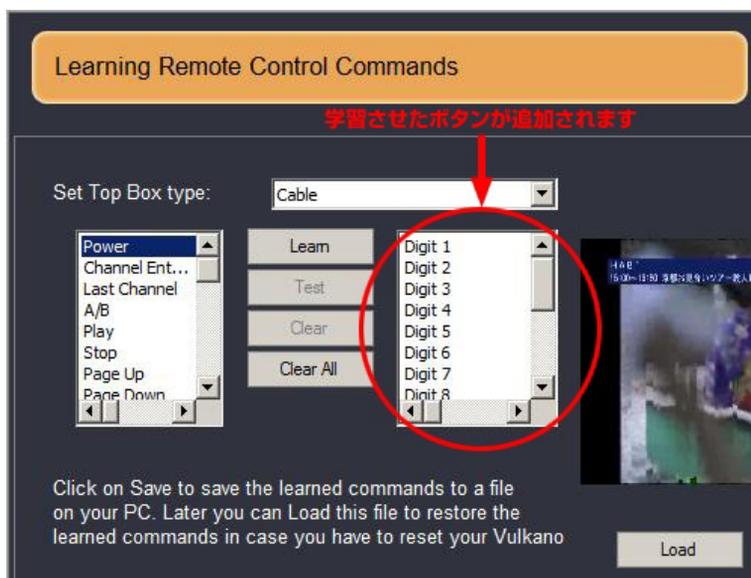
- (1) 「Test」 ボタンをクリックして、リモコンの「1」 ボタンの画面に切り替わるかどうか確認します。

※正常に動作しない場合は、「Try Again」 ボタンをクリックして、再度リモコンをボルカノフロー本体の赤外線受光部に向けて、ボタンを押します。

- (2) 正常に動作した場合は「Accept」 ボタンをクリックします。これでボタンを1つ学習させることができました。

**ワンポイント**

左図のウィンドウが表示されない場合は、リモコンボタンを何度か押したり、ボタンを押す長さを変えたり、リモコンの角度を変えたり、試してみてください。また、必ず「Test」 ボタンでご確認ください。



続けてリモコンの数字ボタン（1～0）、チャンネル上下ボタン、音量ボタン、電源ボタンなどのよく利用するボタンを登録します。学習させたボタンは、赤丸部分のリストに追加されていきます。一通り、リモコン信号を学習させたら、画面右下の「Next」 ボタンをクリックします。

★アイ・オー・データ機器の下記の型番のテレビチューナーについては、リモコン信号を学習させた「リモコン設定ファイル」を無償で提供しております。下記URLよりダウンロードすることができます。「リモコン設定ファイル」の読み込み方法は、P.25[4-2]よりご確認ください。

<http://www.ioplaza.jp/shop/contents/vulkanomannual.aspx#rem>

【リモコン設定ファイルを提供中の型番】  
HVT-BCT300、HVT-BCTL、HVTR-BTL、HVT-BTL、HVT-BT200、HVT-T2SD、HVT-T100、HVT-KD300、HVT-ST200

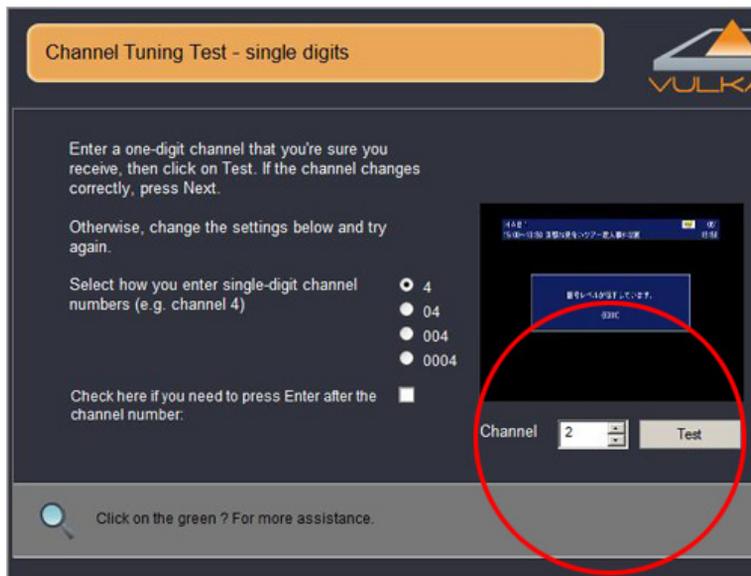
**ワンポイント****【リモコン設定の保存】**

学習させたリモコン設定は、パソコンに設定ファイルとして保存することができます。詳しくはP.25[4-2]よりご確認ください。

**【リモコンの割り当て例】**

以下にアイ・オー・データ機器のテレビチューナー「HVTR-BTL」のリモコンの割り当て例を示しますので、参考にしてください。

HVT-BTLリモコン	Windows / Macリモコン割り当て	iPhone / Androidリモコン割り当て
1	Digit 1	1
2	Digit 2	2
3	Digit 3	3
4	Digit 4	4
5	Digit 5	5
6	Digit 6	6
7	Digit 7	7
8	Digit 8	8
9	Digit 9	9
番号入力	Channel Enter,100	0
10/0	Digit 0	10
チャンネル↑	Channel Up	Chan ↑
チャンネル↓	Channel Down	Chan ↓
前チャンネル	Last Cannel	Last
電源	Power	Power
メニュー	Menu	Menu
画面表示	Info/Display	Info
戻る	Exit	Exit
↑	Menu Up	↑
↓	Menu Down	↓
←	Menu Left	←
→	Menu Right	→
決定	Menu Select	OK
番組表	Guide	Guide



チャンネル選択のテスト画面が表示されま  
す。赤丸部分の「Channel」リストから番  
号を選び、「Test」ボタンをクリックして、  
選択したチャンネルの番組がきちんと視聴  
できるか確認します。

問題がなければ画面右下の「Next」ボタ  
ンをクリックします。

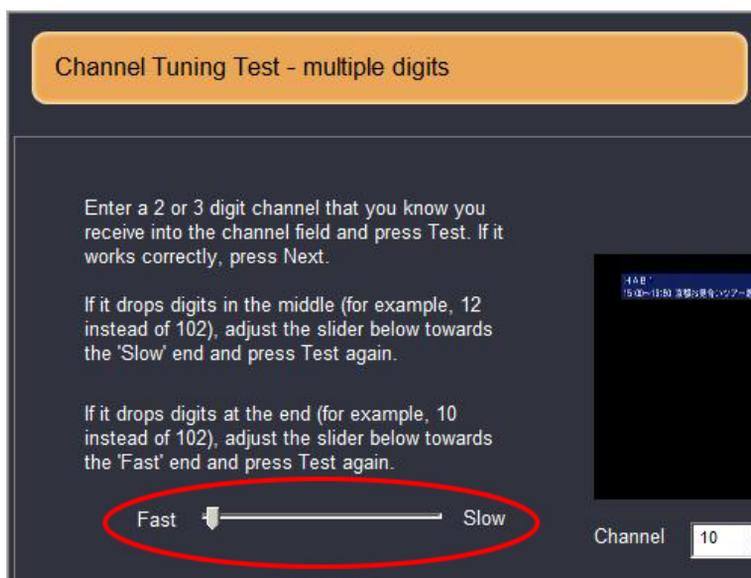
P.21の最初の画面の「Test」ボタンで正  
常にチャンネル切り替えが動作した場合は、  
この確認は不要です。

### ワンポイント

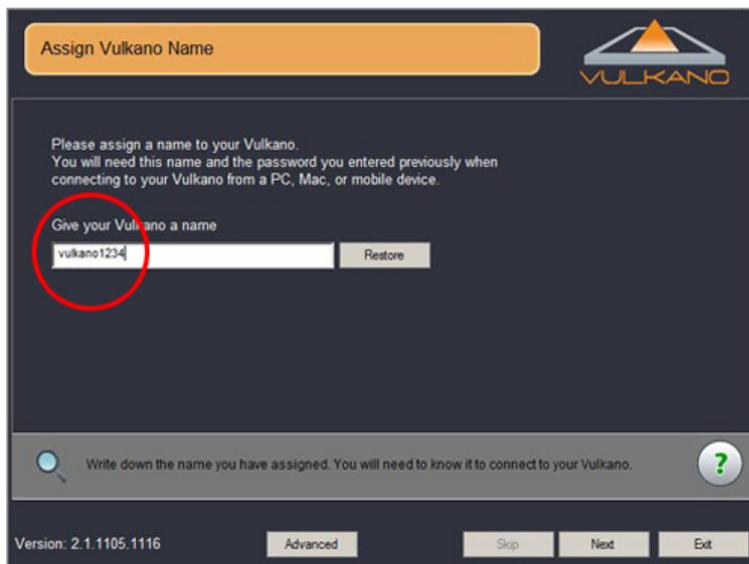
数字を入力してチャンネルを切り替えるタ  
イプのリモコンの場合、数字の桁数が何桁  
までなのかを設定できます。

「Select how you enter single-digit  
channel numbers (e. g. channel 4) 」  
の項目で、使用する桁数を選択してくださ  
い。

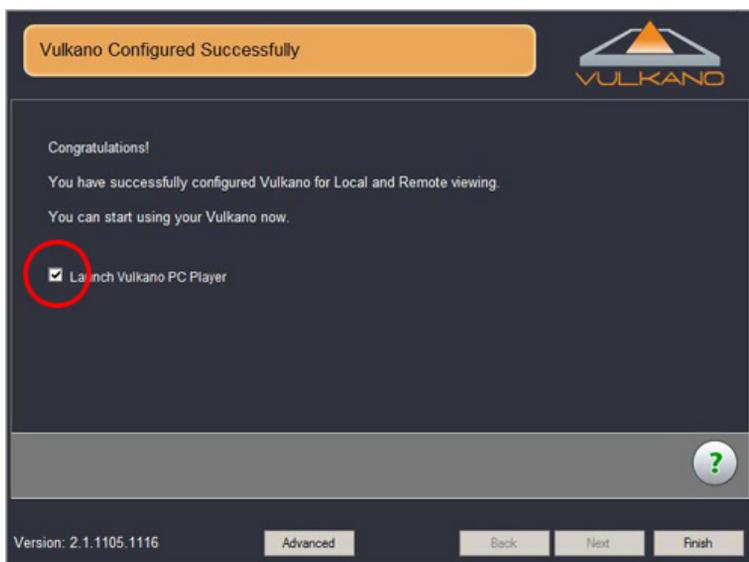
また、チャンネルの桁数を入力した後、  
「Enter」ボタンで確定させたい場合は、  
「Click here if you need to press Enter  
after the channel number」にチェック  
を入れてください。



左図の画面ではチャンネル切り替えの入力  
速度を「Fast」～「Slow」のスライド  
バーで変更できます。通常はそのまま問題  
ありませんので、画面右下の「Next」ボ  
タンをクリックします。

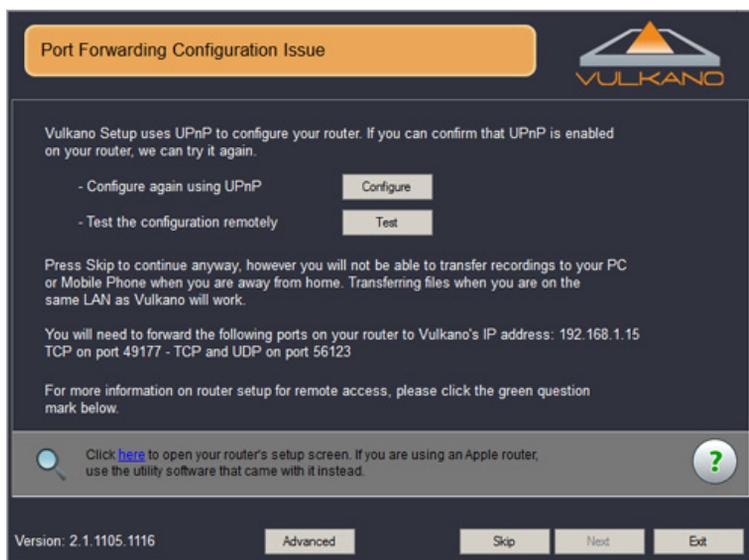


ボルカノフローの名前を設定する画面が表示されます。好きな名前を入力して「Next」ボタンをクリックしてください。また、登録された名前はiPhone、iPad、Android端末、PCの視聴プレーヤーソフトからボルカノフローに接続する際に必要となりますので、**パスワード同様に忘れないようにしてください。**



左図の画面が表示されましたら、ボルカノフローのセットアップは完了です。「Launch Vulkano PC Player」にチェックを入れたまま、「Finish」ボタンをクリックして、P.28[5-1]へ進みます。

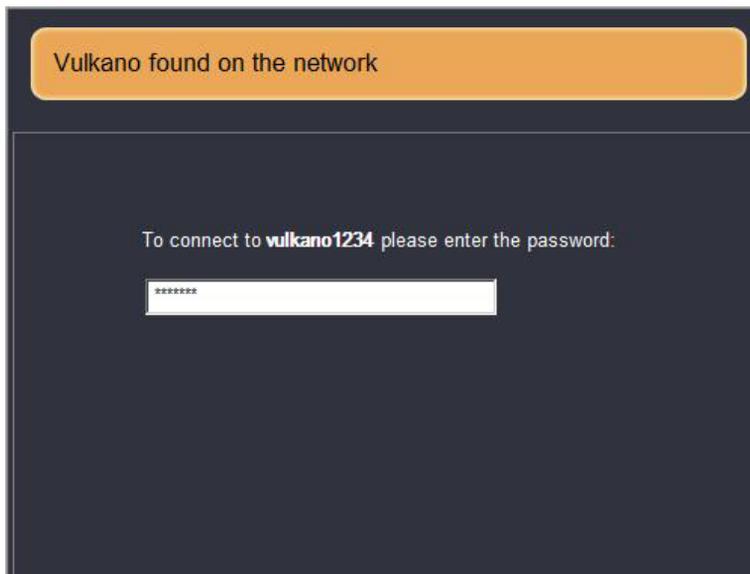
#### 4-1-1. ボルカノフロー本体の設定が正常に終了できなかった場合



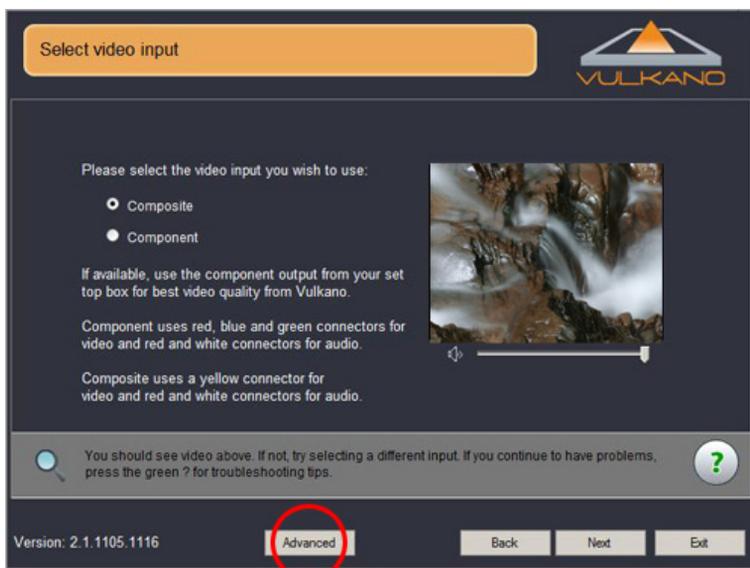
**注意**

ネットワークルーターがUPnPに対応していない場合は左図のような画面が表示されますので、第6章の手順に沿ってネットワークの設定を行ってください。

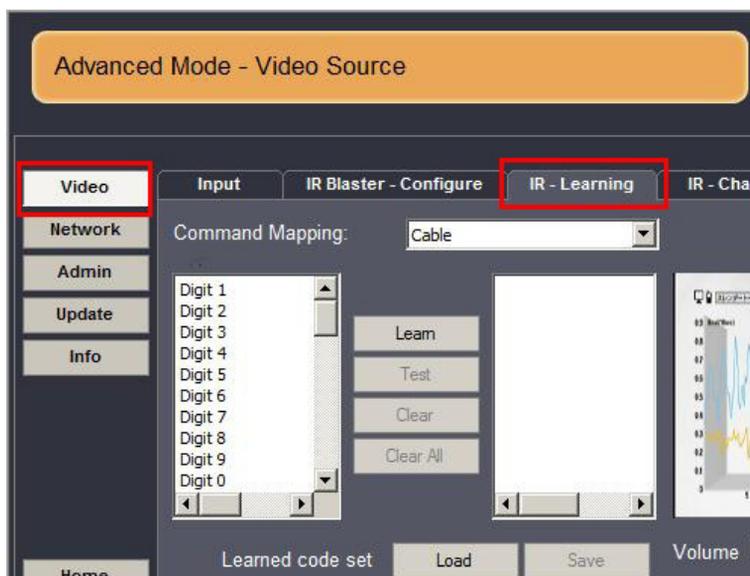
## 4-2. リモコン設定ファイルの保存・読み込み



「Vulkano Setup Wizard」を起動すると、左のようにパスワードを入力する画面が表示されます。初回起動時に設定したパスワードを入力して画面右下の「Next」ボタンをクリックしてください。

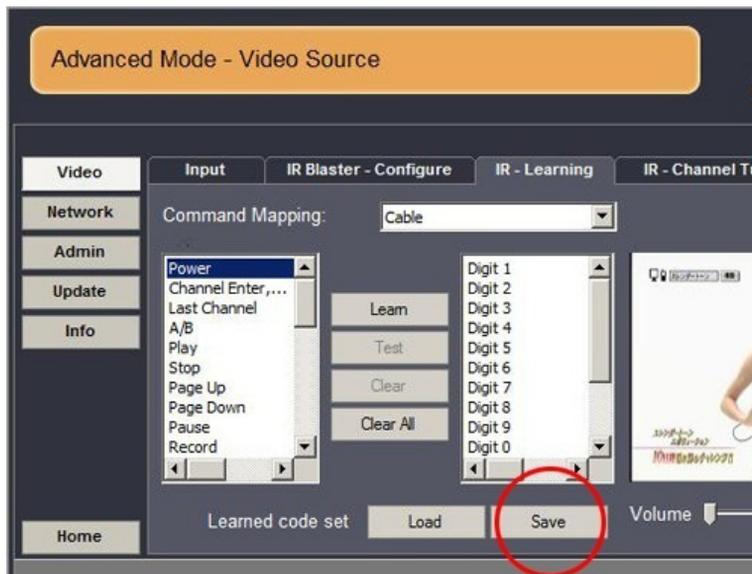


左図の画面が表示されましたら、「Advanced」ボタンをクリックしてください。



左のメニューから「Video」を選択し、「IR-Learning」タブを選択します。

## 【リモコン設定ファイルの保存】

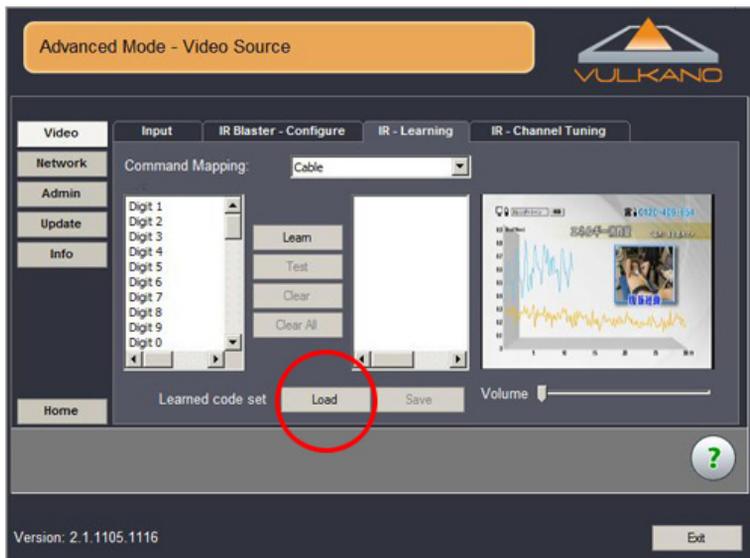


学習させたリモコンボタンの決定は、ファイルに保存することができます。ファイルを保存するには、赤丸部分の「Save」ボタンをクリックします。



「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されますので、「保存」ボタンをクリックします。これで学習させたリモコンの設定をいつでも読み込むことができます。

## 【リモコン設定ファイルの読み込み】



リモコン設定ファイルを読み込む場合は、赤丸部分の「Load」ボタンをクリックします。

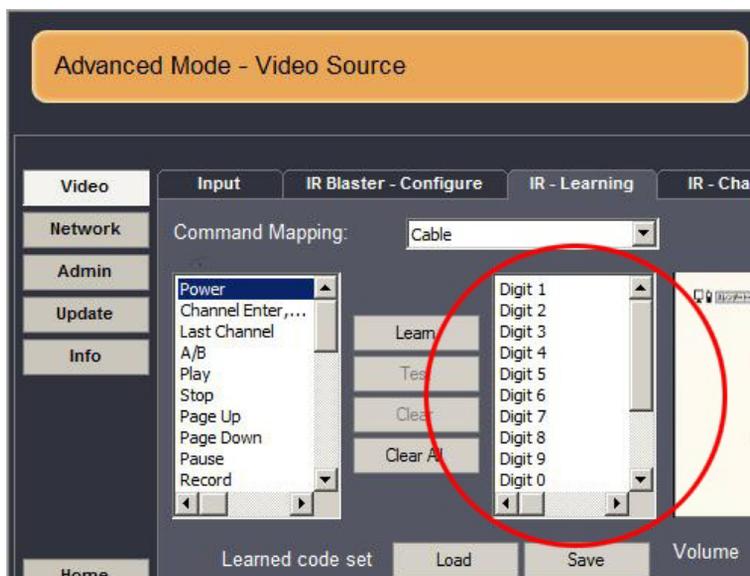
### ワンポイント

リモコン設定ファイルは共有することができます。接続するAV機器（テレビチューナーやレコーダーなど）が同じ場合、設定ファイルを共有することで、リモコン学習の手間が省けます。挑戦者BBSなどをご参照ください。

<http://sp.ioplaza.jp/challenger/patio.cgi>



「ファイルを開く」ウィンドウが開きますので、読み込みたいリモコン設定ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックしてください。



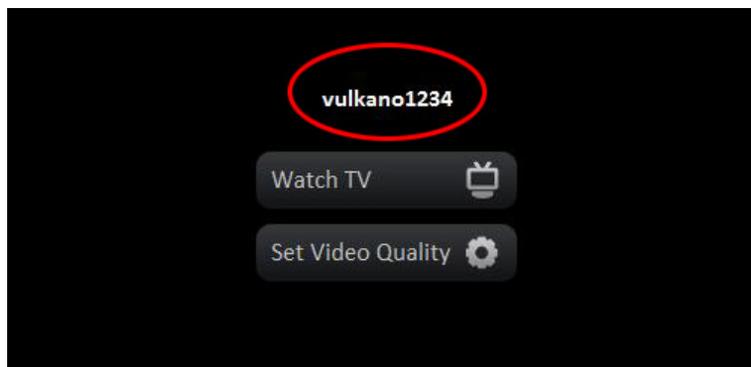
左図の赤丸部分のリストに「Digit 1」「Digit 2」…の各項目が表示され、リモコン設定が読み込まれます。画面右下の「Exit」ボタンでセットアップウィザードを閉じると、設定は保存されます。

## 第5章 映像やTVの視聴

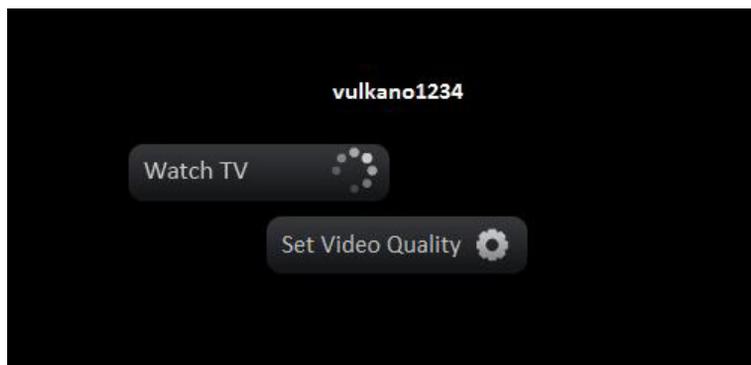
### 5-1. パソコンでの視聴 (Vulkano PC Playerを利用)



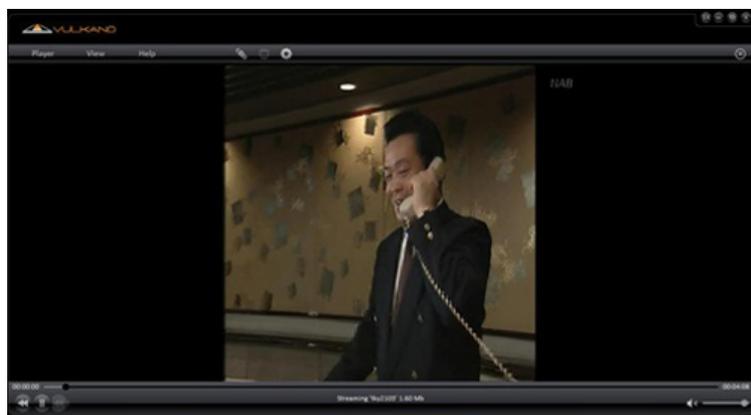
デスクトップのショートカットをダブルクリックし、「Vulkano PC Player」のアイコンをダブルクリックして起動します。



先ほど設定したボルカノフローの名前が表示されていることを確認し、「Watch TV」ボタンをクリックしてください。



ボルカノフローへ接続するまでは少し時間がかかりますので、そのまま待ちます。



正常にボルカノフローと接続されると、接続したAV機器の映像が表示されます。

※画面の表示については、P.30の「View」メニューの【Screen Size/Modes】の項目にて、フル画面表示、ワイド画面表示など設定を変更することができます。

#### ワンポイント

接続に失敗した場合は以下のような原因が考えられますので、チェックしてみてください。

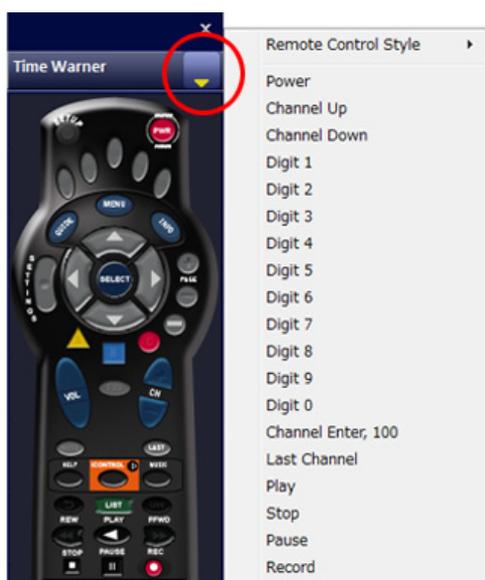
- ・ボルカノフロー本体、AV機器、ネットワークルーターの電源が入っていない
- ・ボルカノフローおよびパソコンがインターネットに接続されていない
- ・他のパソコンやスマートフォンなどが既にボルカノフローに接続している (ボルカノフローは仕様上、1対1の接続となります)



リモコンアイコンをクリックすると、リモコンウィンドウが表示されます。また、リモコン右上の「▼」ボタンの「Remote Control Style」より、リモコンのタイプを変更することができます。

**ワンポイント**

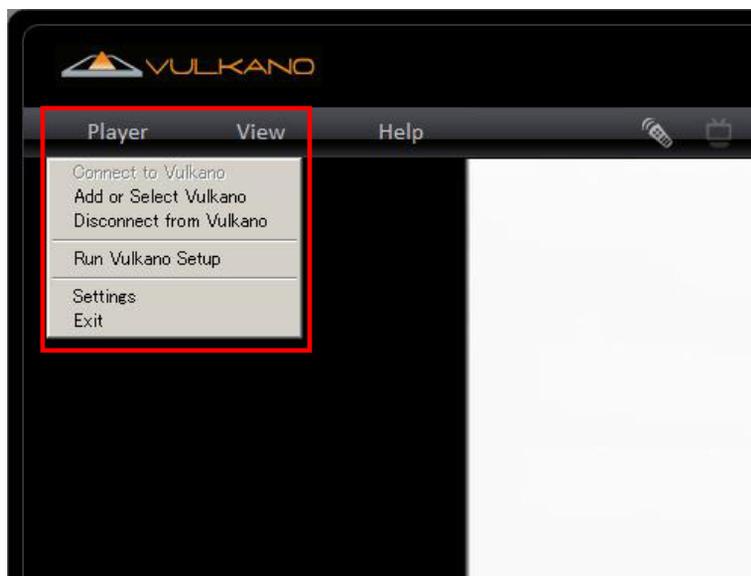
「Vulkano PC Player」の起動直後は、インターネットの回線状況によってリモコンアイコンがすぐに表示されない場合があります。



リモコンウィンドウ右上の「▼」ボタンをクリックすると、P.20[4-1]で設定したリモコンのボタンが表示されます。

**ワンポイント**

リモコンウィンドウの各ボタンにどの操作項目が割り当たっているかわからない場合は、左図の通り設定した各項目のリストが表示されますので、こちらより操作ください。



「Player」メニューをクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。各メニューの内容は以下の通りです。

**【Add or Select Vulkano】**

新しいボルカノフローを追加したり、接続するボルカノフローを切り替えることができます。

**【Disconnect from Vulkano】**

ボルカノフローとの接続を切断します。

**【Run Vulkano Setup】**

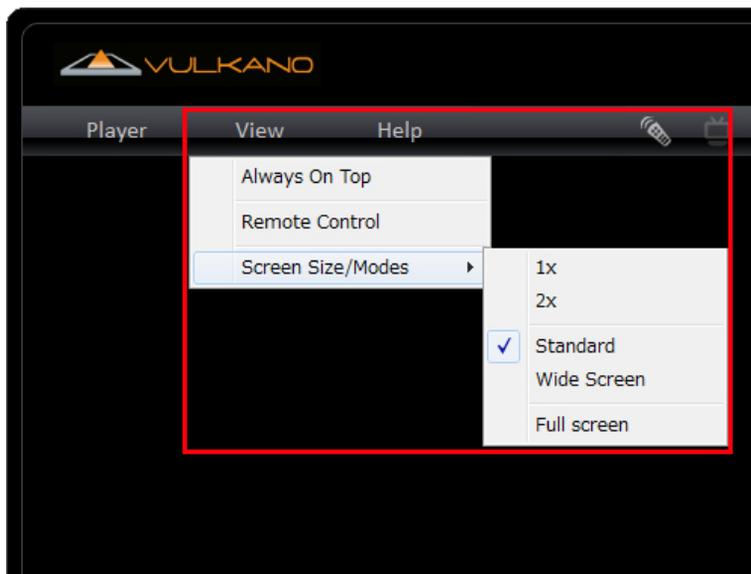
Vulkano Setup Wizardを起動します。

**【Settings】**

設定画面を開きます。

**【Exit】**

Vulkano PC Playerを終了します。



「View」メニューをクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。各メニューの内容は以下の通りです。

**【Always On Top】**

Vulkano PC Playerを常に最前面に表示させます。

**【Remote Control】**

リモコンを表示します。

**【Screen Size/Modes】**

下記の選択項目にてVulkano PC Playerの画面表示サイズを変更できます。

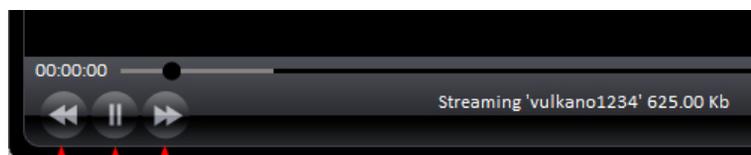
「1×」：等倍表示

「2×」：2倍表示

「Standard」：4:3の画面表示

「Wide Screen」：16:9の画面表示

「Full screen」：フル画面表示

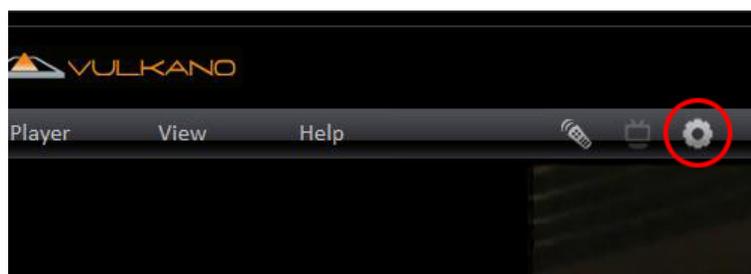


Vulkano PC Playerはタイムシフト再生にも対応しております。再生中に一時停止ボタンをクリックし、巻き戻しボタンや早送りボタンをクリックすると、巻き戻し再生や早送り再生をすることができます。

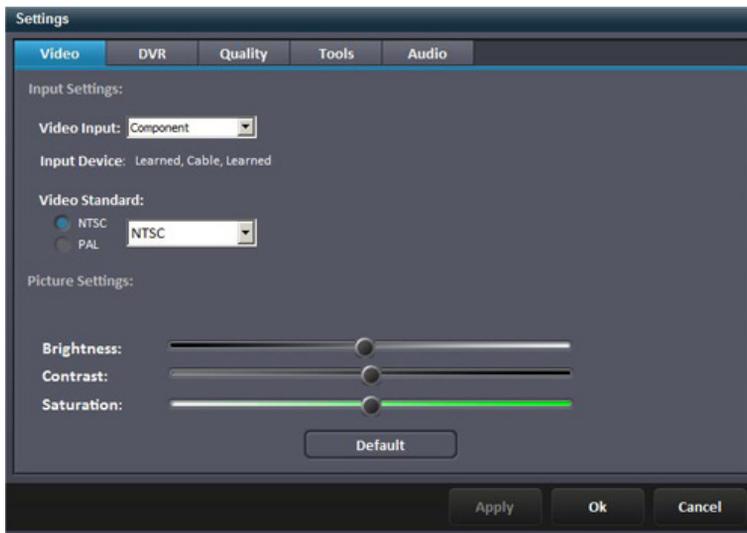
タイムシフト再生時の停止時間もしくはファイル容量には制限があります。制限値の設定方法はP.31『「DVR」タブの設定項目』をご確認ください。

**ワンポイント**

タイムシフト再生は、急な来客などでパソコンから離れる際も、見逃したところから視聴できるので大変便利です。



「設定」アイコンをクリックすると、映像や音声に関する設定画面が開きます。



「Video」タブの設定項目

【Video Input】

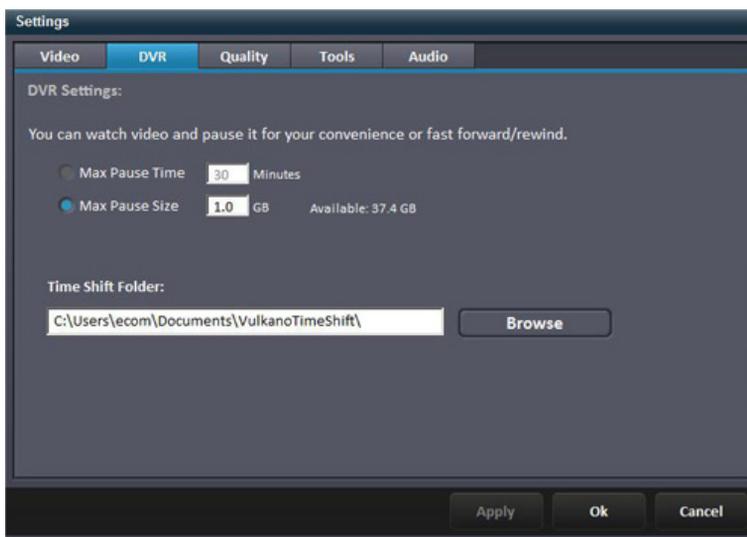
コンポーネント接続かコンポジット接続かを選択できます。

【Video Standard】

テレビのカラー方式を選択できます。日本はNTSCなので、そのままOKです。

【Picture Settings】

輝度、コントラスト、彩度を調整します。通常はそのままOKです。



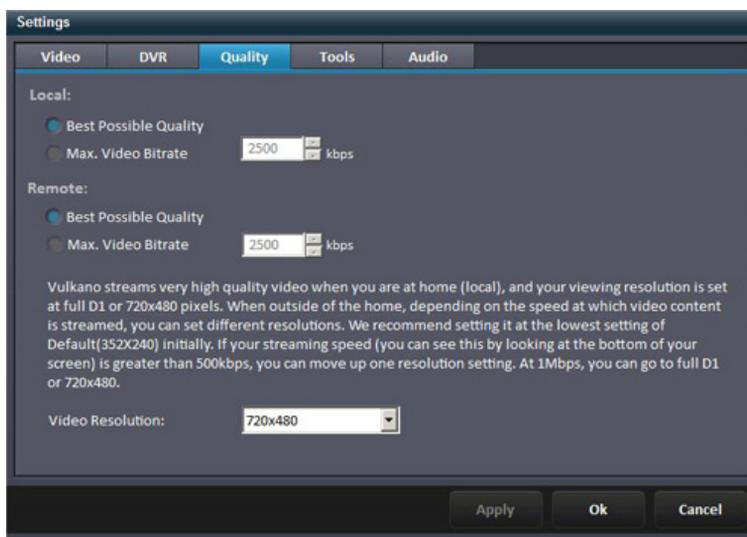
「DVR」タブの設定項目

【You can watch video and pause it for your convenience or fast forward/rewind】

タイムシフト再生時の映像の停止時間もしくは停止した際のファイル容量の制限値を設定できます。

【Time Shift Folder】

タイムシフト再生で映像を保存するフォルダを指定できます。



「Quality」タブの設定項目

【Local】

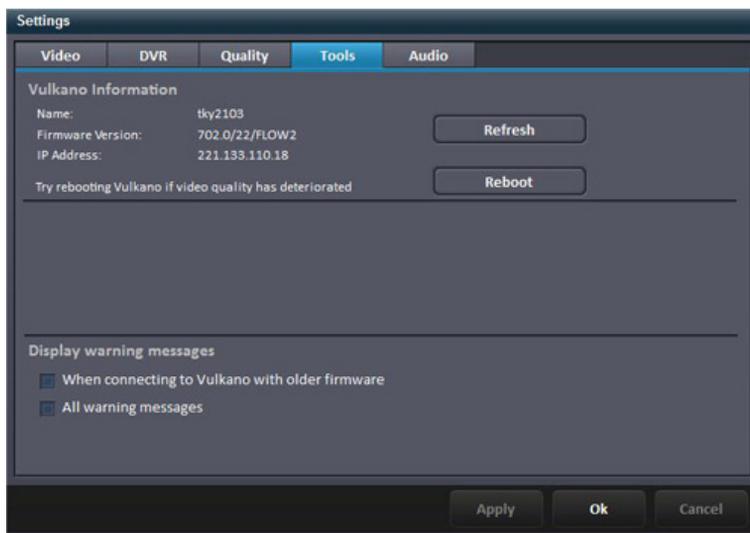
ローカル再生時のビットレートを指定します。「Best Possible Quality (最高画質の指定)」もしくは「Max. Video Bitrate (最大ビットレートの指定)」を選択できます。

【Remote】

ストリーミング再生時のビットレートを指定します。「Best Possible Quality (最高画質の指定)」もしくは「Max. Video Bitrate (最大ビットレートの指定)」を選択できます。

【Video Resolution】

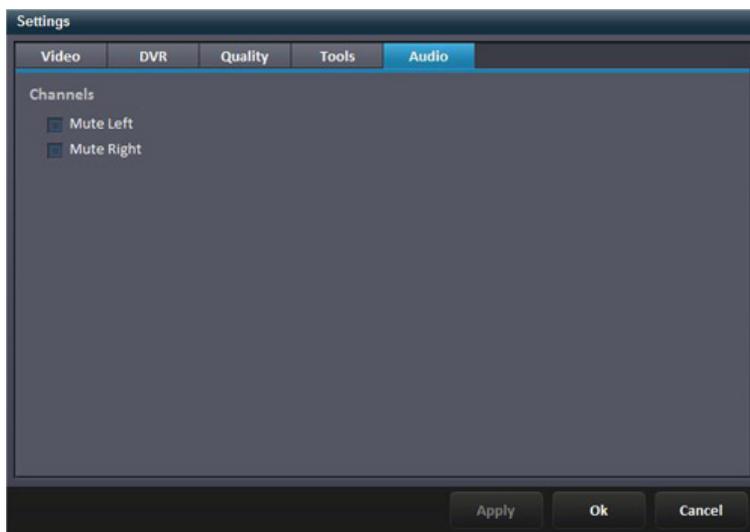
映像の解像度を指定します。



## 「Tools」タブの設定項目

【Vulkano Information】  
ボルカノフローに設定した各種情報を確認  
できます。

【Display warning messages】  
警告メッセージの表示方法を指定します。  
「When connecting to Vulkano with  
older firmware (最新のファームウェアが  
見つかったとき)」および「All warning  
messages (常に警告を表示)」を指定で  
きます。



## 「Audio」タブの設定項目

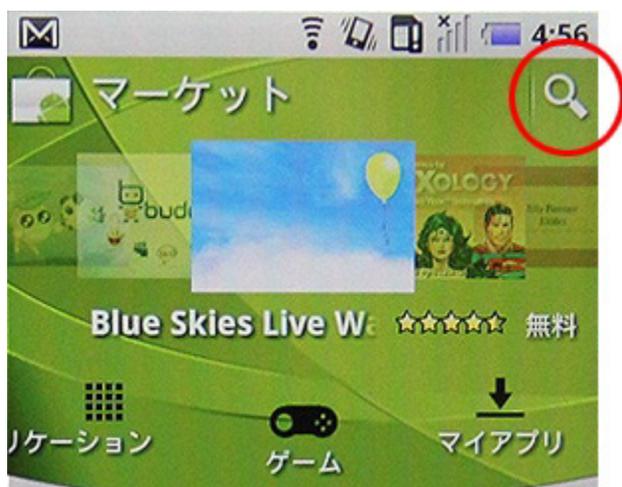
【Channels】  
左右のスピーカーのミュートON/OFFを指  
定します。

## 5-2. Android端末での視聴

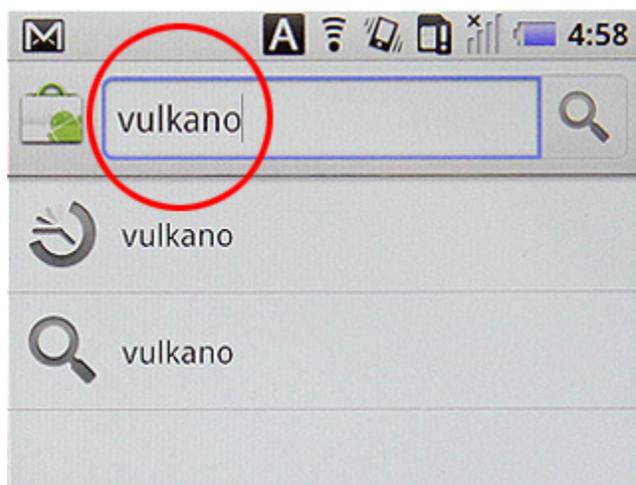
### 5-2-1. プレーヤーソフトの入手



初めに、Android端末専用のプレーヤーソフト「Vulkano Player(Flow&Blast)」を入手します。Androidのホーム画面からメニュー画面を呼び出し、「マーケット」アイコンをタッチします。



赤丸部分の検索ボタンをタッチします。



検索ボックスに「vulkano」と入力して検索を実行します。



有料の「Vulkano Player(Flow & Blast)」を選択します。

※無料の「Vulkano Player」では視聴できません。

※プレーヤーソフトの価格は、為替レートにより変動する場合があります。



購入「¥1,078」をタッチします。

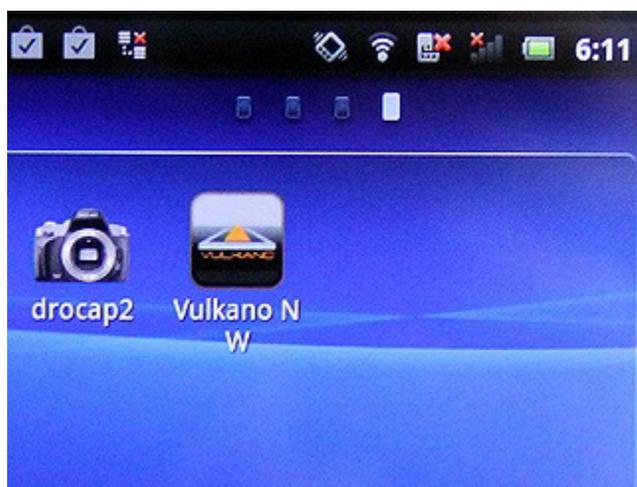


受け入れ許可「OK」をタッチします。

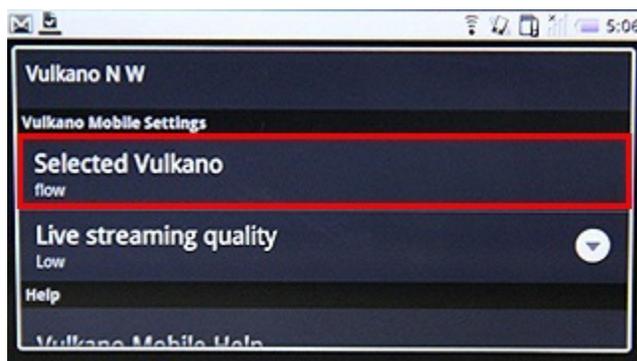


支払方法を選択し、「今すぐ購入」をタッチします。

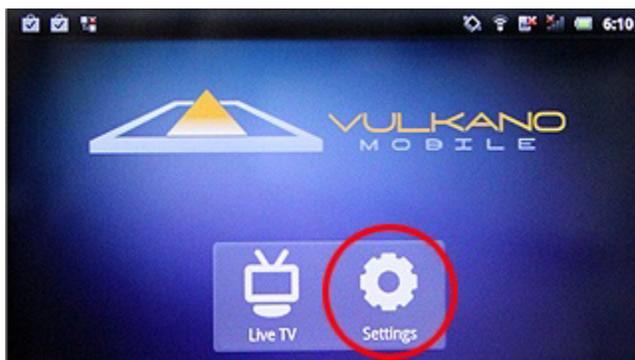
### 5-2-2. 設定と視聴



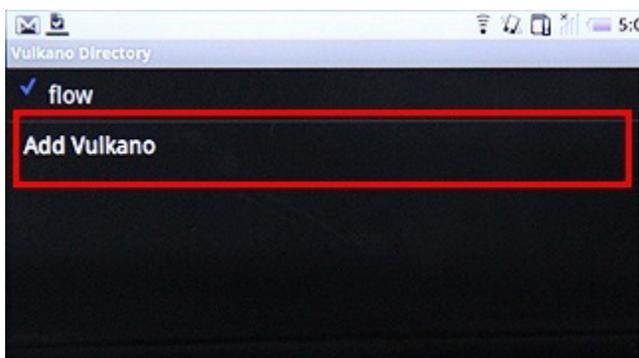
ホーム画面に「Vulkano N W」というアイコンが追加されますので、こちらをタッチします。



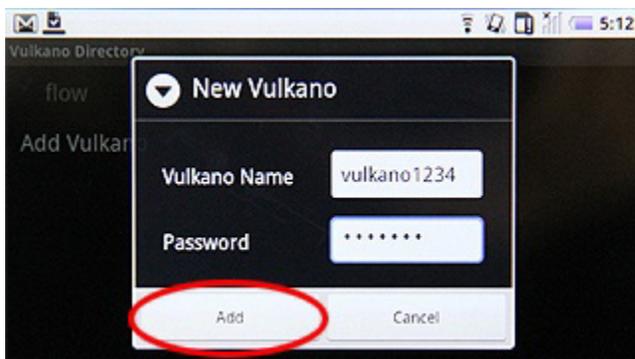
VulkanoPlayerの設定画面になりますので、「Selected Vulkan」をタッチします。



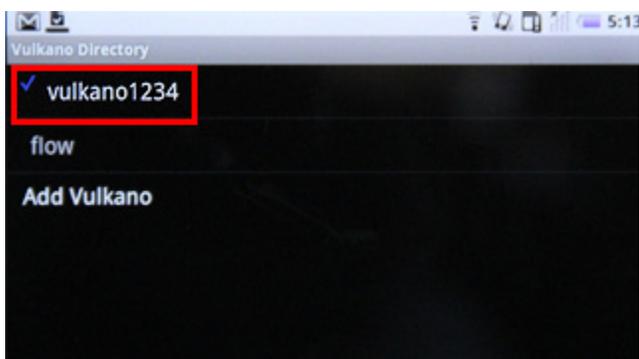
VulkanoPlayer (Flow & Blast) が起動し、メニュー画面が表示されますので、「Settings」をタッチしてください。



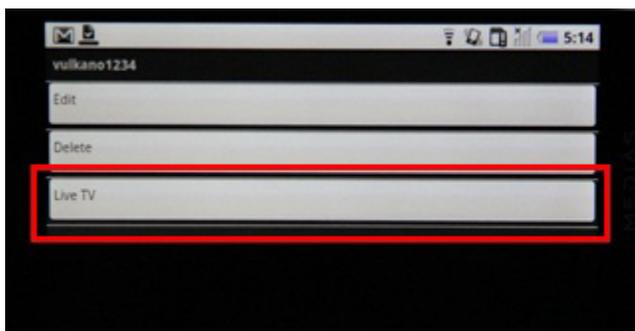
「Add Vulkano」をタッチします。



「New Vulkano」ウィンドウが表示されますので、ボルカノフロー本体に設定した名前とパスワードを入力し、「Add」をタッチします。



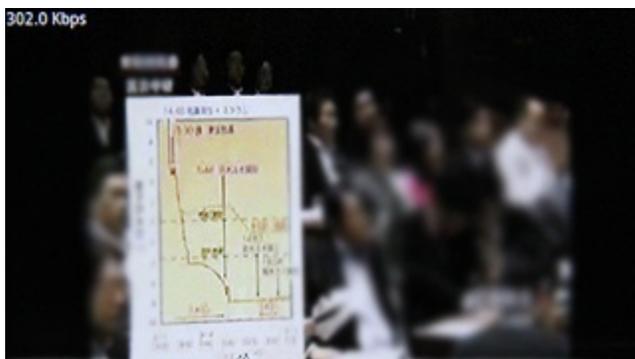
「Vulkano Directory」画面に登録したボルカノフローが追加されるので、その名前をタッチします。



「Live TV」をタッチします。



バッファリング中のメッセージが表示されている間、しばらく待ちます。



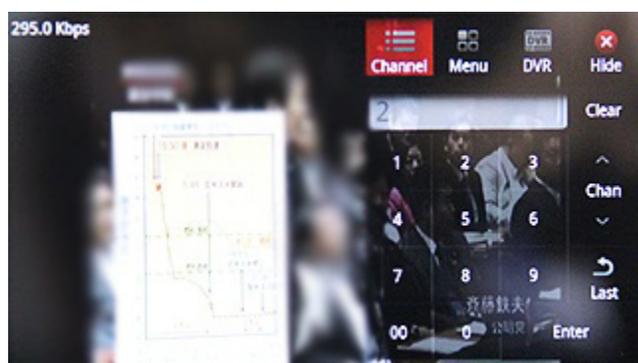
ボルカノフローへの接続に成功すると、接続したAV機器の映像が表示されます。



画面をタッチすると、メニュー画面が表示されるので、「Remote」アイコンをタッチします。



リモコン操作を行うメニューパネルが表示されます。



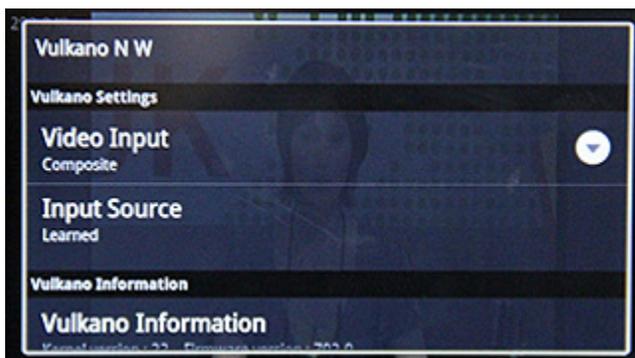
P.20[4-1]で割り当てたリモコンボタンを押すと画面が暗転して、切り替わります。切り替わるまでしばらく時間がかかります。



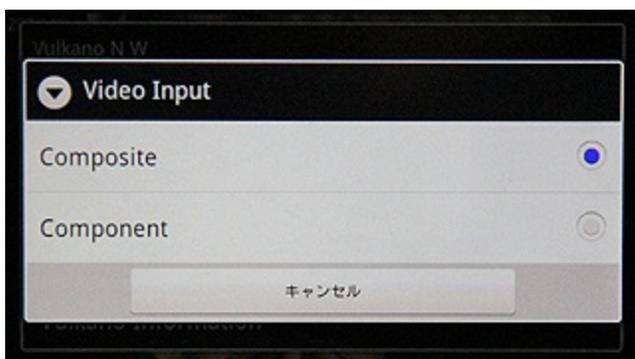
チャンネルが切り替わりました。メニューパネルを閉じるには、右上の「Hide」アイコンをタッチします。その他の各種ボタンは「Menu」、「DVR」の各項目よりご確認ください。



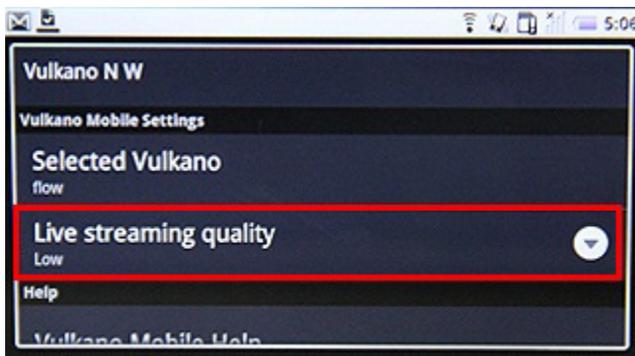
右下の「設定アイコン」より、ボルカノフローの設定情報の確認・設定が行えます。



ボルカノフローの設定画面が表示されます。  
「Video Input」をタッチしてみましょう。



ビデオ入力の設定が確認できます。今回は  
コンポジットで接続しているので、  
「Composite」にチェックが入っていれば  
正しくテレビを視聴することができます。



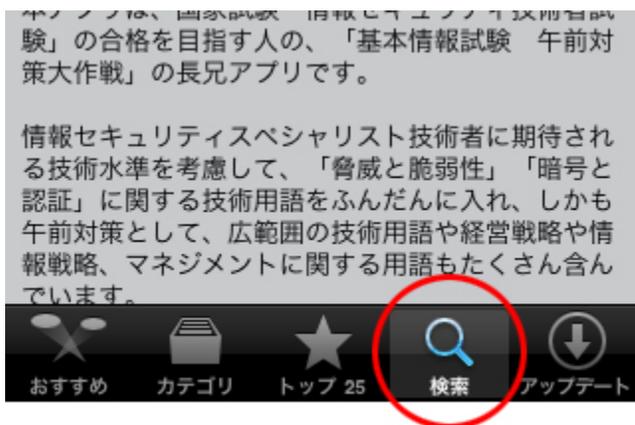
次に、「Live streaming quality」をタッチ  
してみましょう。ここではストリーミン  
グ映像の品質を「Low」または  
「Normal」から選択することができます。  
※Androidバージョン2.3以降は、  
「Normal」「Middle」「High」の3つの  
の中から選択できます。

## 5-3. iPhoneでの視聴

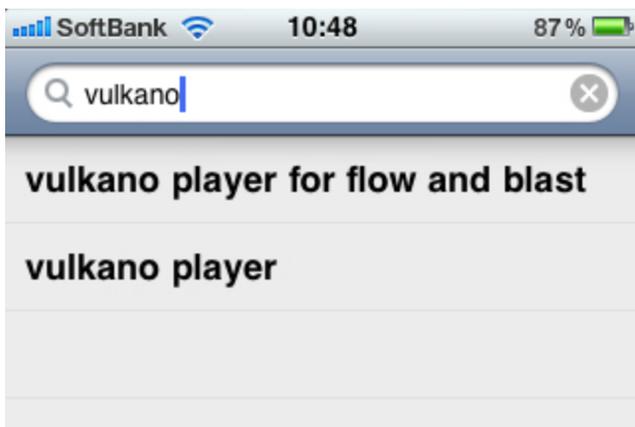
### 5-3-1. プレーヤーソフトの入手



iPhoneのホーム画面からメニュー画面を呼び出し、「App Store」アイコンをタッチします。



検索アイコンをタッチします。



検索ボックスに「vulkano」と入力して検索を実行します。



有料の「Vulkano Player for Flow and Blast」を選択します。



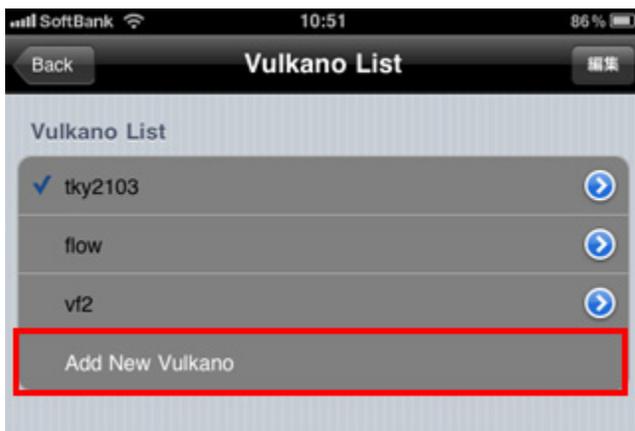
購入手続きを行い、アプリをインストールすると、メニュー画面に「Vulkano N W」というアイコンが追加されているので、こちらをタッチします。



メニュー画面が表示されますので、「Settings」をタッチしてください。



VulkanoPlayerの設定画面になりますので、「Select Vulkano」をタッチします。



「Add New Vulkano」をタッチします。

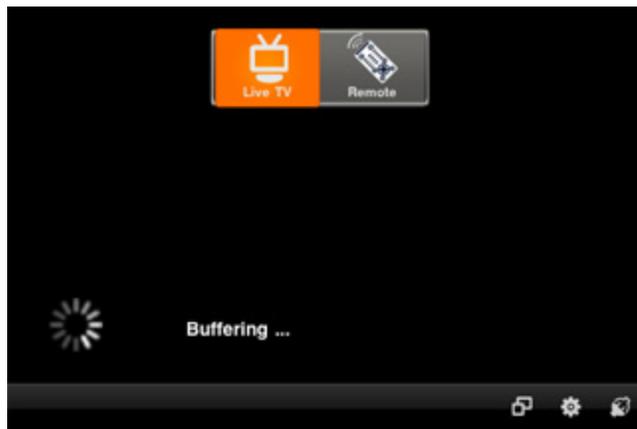


「Vulkano Name/ID」の項目にボルカノフロー本体に設定した名前を、  
「Password」の項目に設定したパスワードを入力し、「Save」をタッチします。

### 5-3-2. 設定と視聴



リストに設定したボルカノフローが登録されるので、その名前をタッチします。



自動的にボルカノフローへ接続が行われ  
ます。バッファリング中のメッセージが表示  
されている間、しばらく待ちます。



ボルカノフローへの接続に成功すると、接  
続したAV機器の映像が表示されます。



画面をタッチすると、メニュー画面が表示  
されるので、「Remote」アイコンをタッチ  
します。



リモコン操作を行うメニューパネルが表示  
されます。

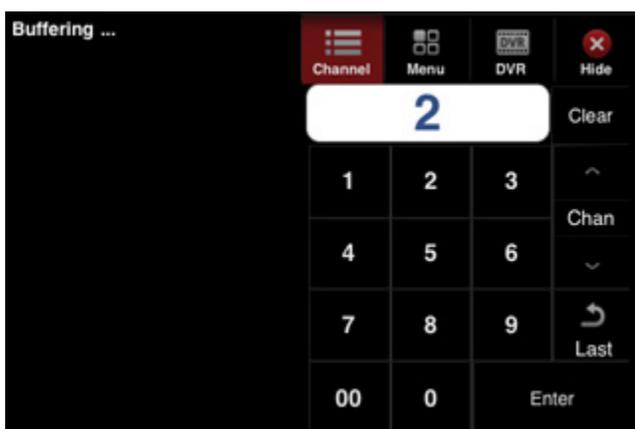


P.20[4-1]で割り当てたリモコンボタンを押してみます。

**ワンポイント**

「Menu」「DVR」に配置されているボタンの一部は割り当てたい操作項目を設定する必要があります。

対象のボタンは初回利用時に「Assign」画面に切り替わりますので、配置したい操作項目を選んで、画面右上の「Save」を押してください。2回目以降は設定した操作を行えるようになります。詳細はP.45「初回利用時のボタンの割り当て設定について」をご覧ください。



画面が暗転し、切り替えまでしばらく時間がかかります。



チャンネルが切り替わりました。メニューパネルを閉じるには、右上の「Hide」アイコンをタッチします。



メニュー画面に戻り、「Settings」をタッチすると、ボルカノフローの設定情報の確認・変更が行えます。



ボルカノフローの設定画面が表示されます。「Connection」をタッチしてみましょう。



この項目では、通信方式を選択することができます。WiFiのみで接続したい場合は、「Only WiFi」を選択します。3G回線やWiFiで接続する場合には、「Any data network (3G, Edge, WiFi)」を選択します。

【初回利用時のボタンの割り当て設定について】



iPhoneで遠隔操作を行う場合、P.20[4-1]のリモコン設定で割り当てたボタンがiPhoneのリモコン操作画面では無い場合があります。

例：「Info/Display」⇒iPhoneの操作ボタンでは表示がなく、代わりに左図のように「Info」項目があります。

上記のような場合は、表示されていないボタンを他のボタンに割り当てる必要があります。



割り当てが行われていないボタンを初めて押すと左図の画面が表示されるので、リストの中から割り当てたい動作を選択ください。

また一度設定したボタンは、ボタンを長押しすることで再度変更することができます。

## 5-4. iPadでの視聴

### 5-4-1. プレーヤーソフトの入手



iPadのホーム画面からメニュー画面を呼び出し、「App Store」アイコンをタッチします。



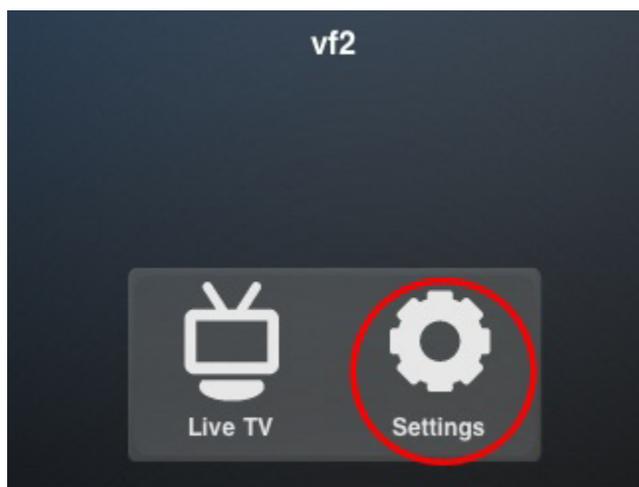
検索ボックスに「vulkano」と入力して検索を実行します。



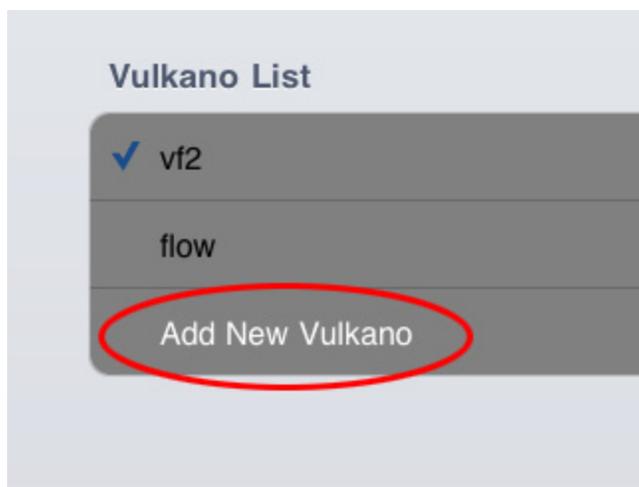
有料の「Vulkano Player for Flow and Blast」を選択します。



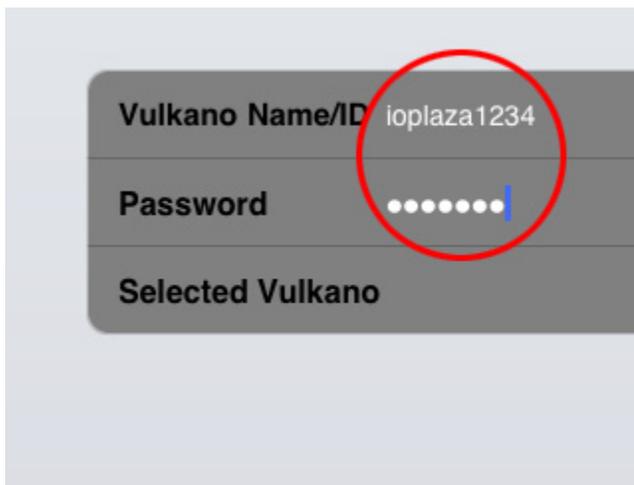
購入手続きを行い、アプリをインストールすると、メニュー画面に「Vulkano N W」というアイコンが追加されているので、こちらをタッチします。



VulkanoPlayerが起動し、メニュー画面が表示されます。「Settings」をタッチしてください。  
VulkanoPlayerの設定画面になりますので、「Select Vulkano」をタッチします。

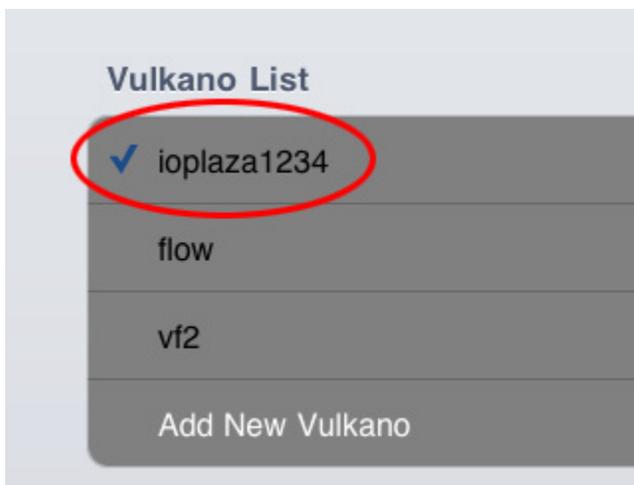


「Add New Vulkano」をタッチします。



「Vulkano Name/ID」の項目にボルカノフロー本体に設定した名前を、「Password」の項目に設定したパスワードを入力し、「Save」をタッチします。

### 5-4-2. 設定と視聴



リストに設定したボルカノフローが登録されるので、その名前をタッチします。



自動的にボルカノフローへ接続が行われます。バッファリング中のメッセージが表示されている間、しばらく待ちます。



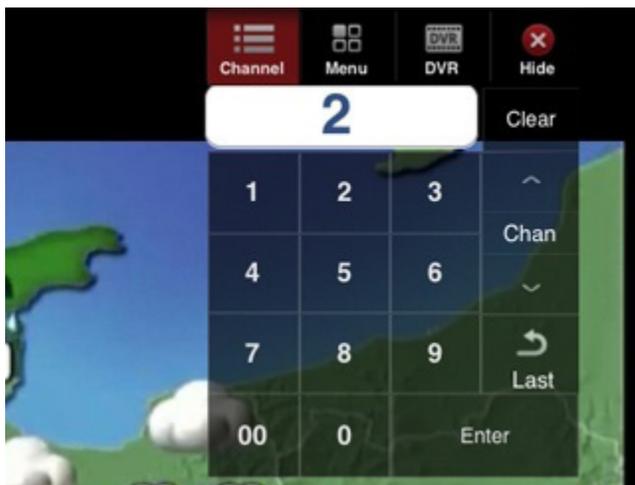
ボルカノフローへの接続に成功すると、接続したAV機器の映像が表示されます。



画面をタッチすると、メニュー画面が表示されるので、「Remote」アイコンをタッチします。



リモコン操作を行うメニューパネルが表示されます。

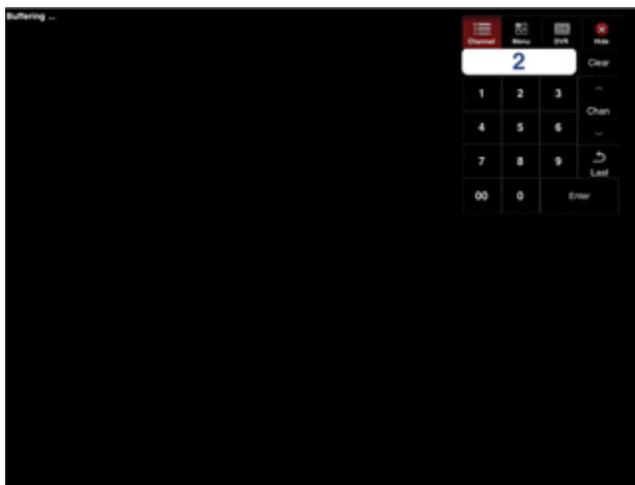


P.20[4-1]で割り当てたリモコンボタンを押してみます。

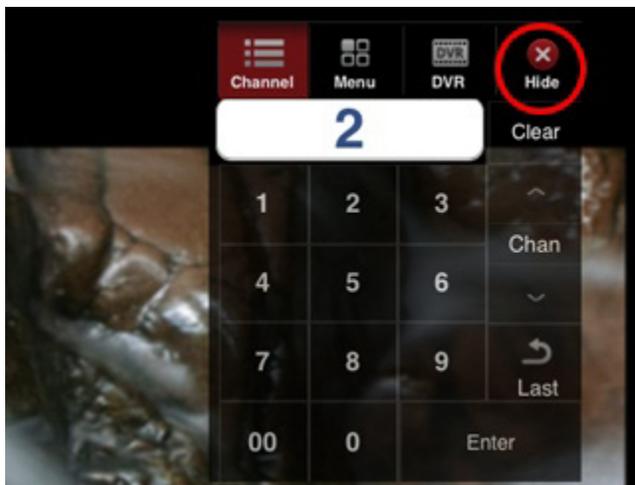
**ワンポイント**

「Menu」「DVR」に配置されているボタンの一部は割り当てたい操作項目を設定する必要があります。

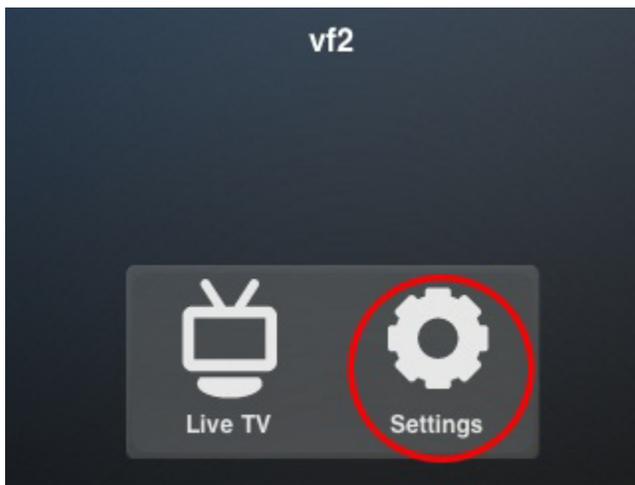
対象のボタンは初回利用時に「Assign」画面に切り替わりますので、配置したい操作項目を選んで、画面右上の「Save」を押してください。2回目以降は設定した操作を行えるようになります。詳細はP.52「初回利用時のボタンの割り当て設定について」をご覧ください。



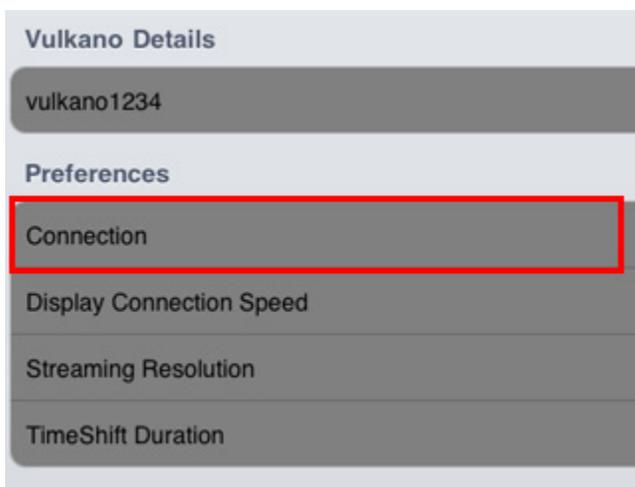
画面が暗転し、切り替えまでしばらく時間がかかります。



チャンネルが切り替わりました。メニューパネルを閉じるには、右上の「Hide」アイコンをタッチします。



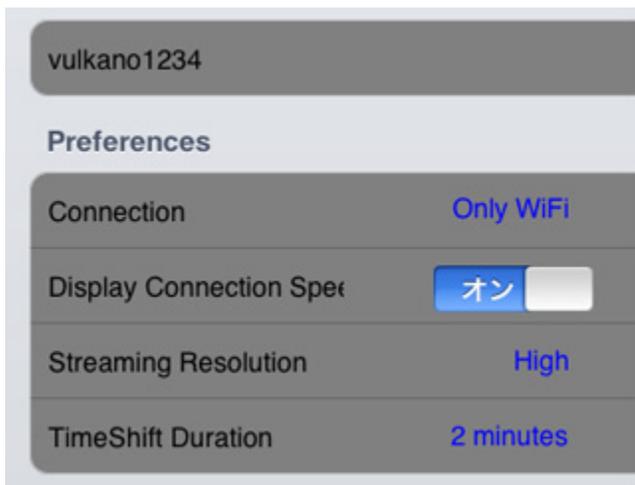
メニュー画面に戻り、「Settings」をタッチすると、ボルカノフローの設定情報の確認・変更が行えます。



ボルカノフローの設定画面が表示されます。「Connection」をタッチしてみましょう。



この項目では、通信方式を選択することができます。WiFiのみで接続したい場合は、「Only WiFi」を選択します。3G回線やWiFiで接続する場合には、「Any data network (3G, Edge, WiFi)」を選択します。



このほか、解像度やタイムシフトの設定を変更することができます。

【初回利用時のボタンの割り当て設定について】



iPadで遠隔操作を行う場合、P.20[4-1]のリモコン設定で割り当てたボタンがiPadのリモコン操作画面では無い場合があります。

例：「Info/Display」⇒iPadの操作ボタンでは表示がなく、代わりに左図のように「Info」項目があります。

上記のような場合は、表示されていないボタンを他のボタンに割り当てる必要があります。



割り当てが行われていないボタンを初めて押すと左図の画面が表示されるので、リストの中から割り当てたい動作を選択ください。

また一度設定したボタンは、ボタンを長押しすることで再度変更することができます。

## 第6章[番外編] ネットワークの設定 (ポートの手動開放の方法について)

### 6-1. ネットワークの設定が正常に行えなかった場合

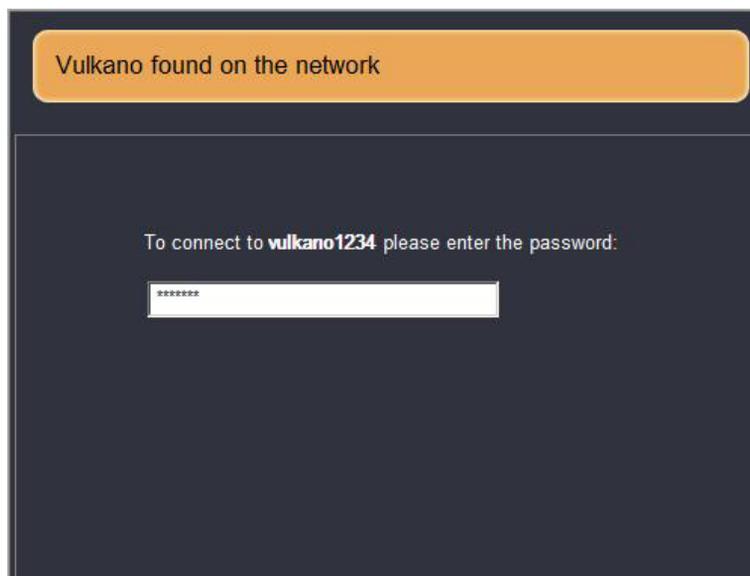


左図の画面が表示されてボルカノフローのセットアップが先に進めない場合は、ネットワークルーターのポートを手動で開放する設定が必要となります。ここではアイ・オー・データ機器の無線LANルーター「WN-G300DGR」を例にその設定方法をご紹介します。

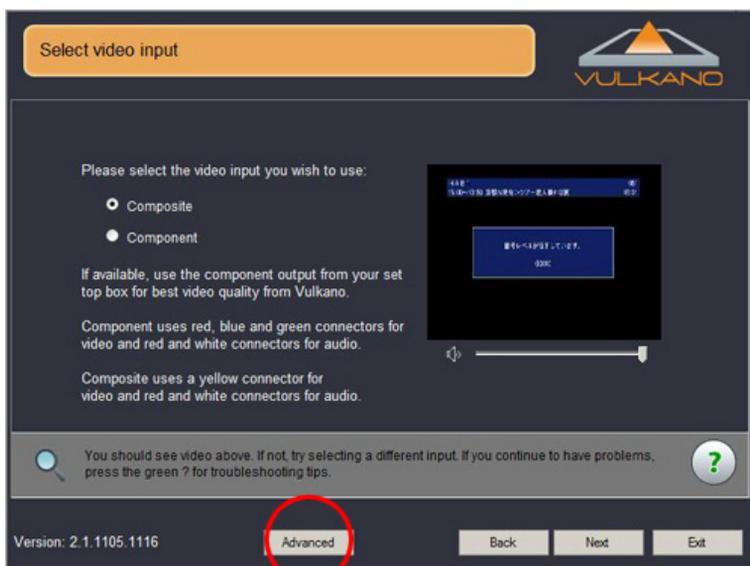
#### ポイント解説

※ご自宅のインターネット回線が下記のサービスをご利用されている場合は、以下よりポート手動開放の設定方法をご確認いただけます。

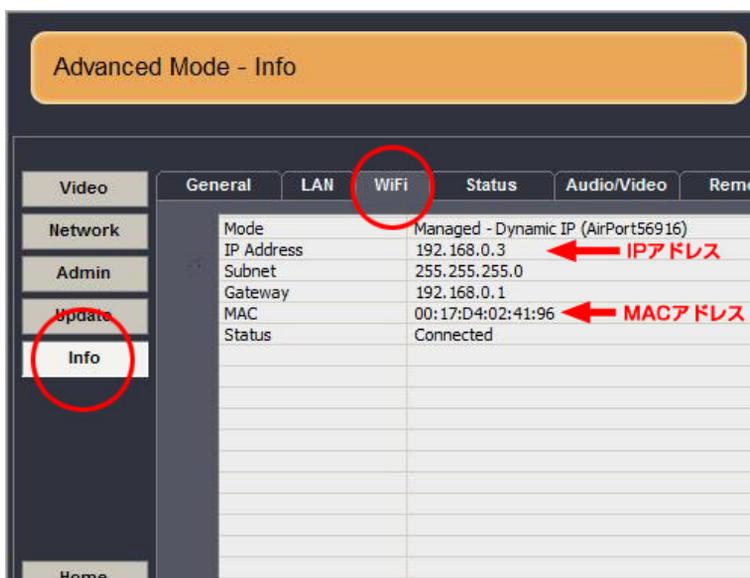
- ・ P.59[6-2]NTT西日本のフレッツ・光プレミアムをご利用の場合
- ・ P.70[6-4]NTT東日本のフレッツ 光をご利用の場合



「Vulkano Setup Wizard」を起動し、左のようにパスワードを入力する画面が表示されたら、初回起動時に設定したパスワードを入力して画面右下の「Next」ボタンをクリックしてください。



左図の画面が表示されましたら、「Advanced」ボタンをクリックしてください。



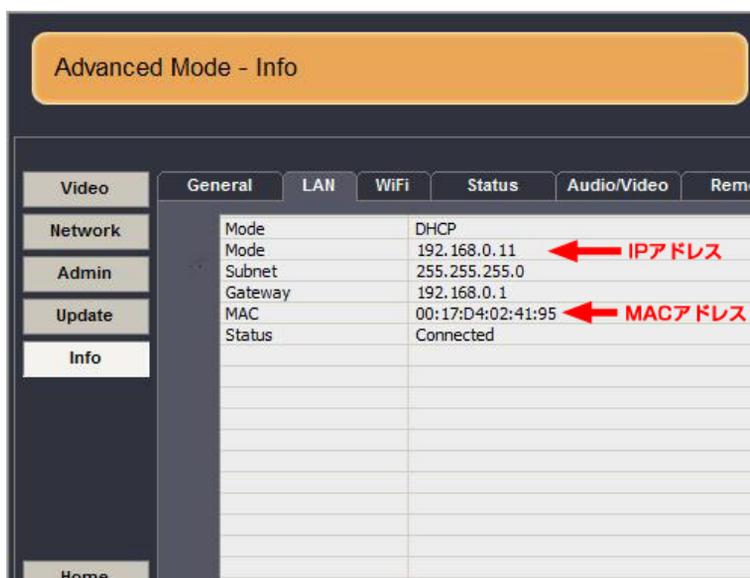
「Info」メニューの「WiFi」タブを選択し、IPアドレスとMACアドレスをメモします。

**用語解説**

IPアドレスとは、ネットワークに接続されたパソコンやネットワーク対応機器に割り振られた識別番号です。

**用語解説**

MACアドレスとは、ネットワーク機器に割り振られた固有の識別番号です。



**ワンポイント**

有線LANでも接続する場合は、「LAN」タブを選択し、同じようにIPアドレスとMACアドレスをメモします。



次にネットワークルーターの設定画面を開きます。設定画面の開き方については、お使いのネットワークルーターの取扱説明書をご確認ください。

WN-G300DGRの場合は、Webブラウザのアドレス欄に「http://airport/」と入力するか、付属のCD-ROMの「AirPortユーティリティ」のメイン画面から「設定画面を開く」メニューを選択します。



左の「LAN設定」メニューを選び、右側の「IPアドレス設定」タブを選択します。中段に「特定のMACアドレスに対してIPアドレスを割り当てる」という項目がありますので、「固定DHCP IPを有効にする」にチェックを入れてください。

**用語解説**

DHCPとは、ネットワークに一時的に接続するパソコンやネットワーク対応機器に、自動的にIPアドレスを割り振るプロトコル（通信手順）です。



P.54でメモしたボルカノフロー本体のWiFiもしくは有線LANのIPアドレスとMACアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックします。

※お使いのネットワークルーターによって、MACアドレスの中に「:」や「-」などを入力する必要がある場合があります。

現在の固定DHCPテーブル:

NO.	IPアドレス	MACアドレス	選択
1	192.168.0.3	00:17:D4:02:41:95	<input type="checkbox"/>

「現在の固定DHCPテーブル」にIPアドレスとMACアドレスが追加されますので、「設定」ボタンをクリックします。

次に、「詳細設定」メニューから「ポートの開放」タブを選択し、「ポートの開放を有効にする」にチェックを入れます。

ポート開放を有効にする

設定名:   
 公開する機器のIPアドレス:   
 プロトコル:   
 LAN側ポート番号:   
 インターネット側ポート番号:

左図の画面のように各項目を入力していきます。

【設定名】分かりやすい、お好きな名前を入力して下さい。

【公開する機器のIPアドレス】  
「現在の固定DHCPテーブル」にて設定したIPアドレスを入力します。

【プロトコル】  
「TCP」を選択します。

【LAN側ポート番号】  
「49177」というポート番号を入力します。

【インターネット側ポート番号】  
「49177」というポート番号を入力します。

最後に「追加」ボタンをクリックします。

※ポルカノフローとネットワークルーターを有線LAN接続する場合は、「固定DHCP IPを有効にする」設定にて追加した「LAN」のIPアドレスも同様に「ポートの開放」の各項目にて入力して追加する必要があります。

ポートの開放一覧：

NO.	説明	ローカルIP	ローカルポート	タイプ	Public ポート	選択
1	VULKANO_WIFI	192.168.0.3	49177	TCP	49177	<input type="checkbox"/>

「ポートの関数一覧」に設定したポート番号が追加されます。

ポートの開放を有効にする

設定名：  
 公開する機器のIPアドレス：  
 プロトコル： ▾  
 LAN側ポート番号：  
 インターネット側ポート番号：

続けて、下記の入力内容を設定します。

【設定名】  
 分かりやすい、好きな名前を入力して下さい。

【公開する機器のIPアドレス】  
 「現在の固定DHCPテーブル」にて設定したIPアドレスを入力します。

【プロトコル】  
 「両方」を選択します。

【LAN側ポート番号】  
 「56123」というポート番号を入力します。

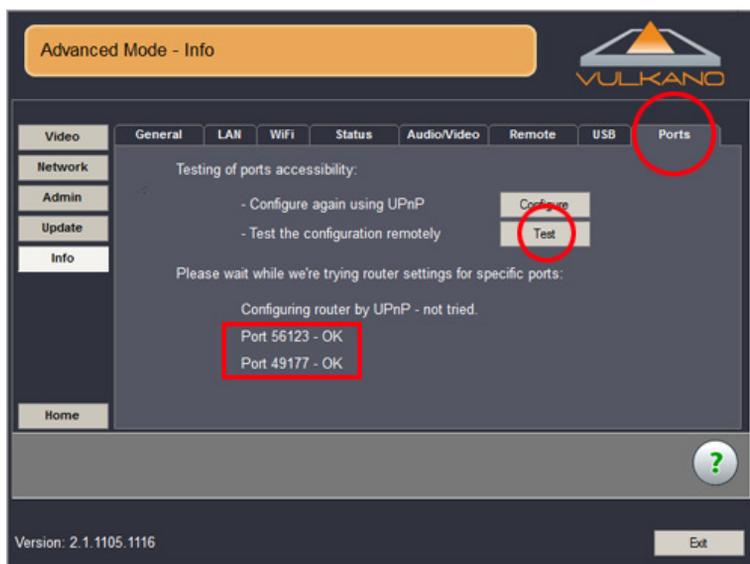
【インターネット側ポート番号】  
 「56123」というポート番号を入力します。

最後に「追加」ボタンをクリックします。

ポートの開放一覧：

NO.	説明	ローカルIP	ローカルポート	タイプ	Public ポート	選択
1	VULKANO_WIFI	192.168.0.3	49177	TCP	49177	<input type="checkbox"/>
2	VULKANO_WIFI	192.168.0.3	56123	BOTH	56123	<input type="checkbox"/>

追加した2つのポート開放の設定が表示されますので、最後に「設定」ボタンをクリックします。  
 以上でネットワークルーターのポートの手動開放の設定は完了です。



ポートが正常に開放されているかを確認するには、「Advanced Mode - Info」画面の「Ports」タブを開き、「Test」ボタンをクリックします。左図のように「OK」のメッセージが表示されれば設定は成功です。

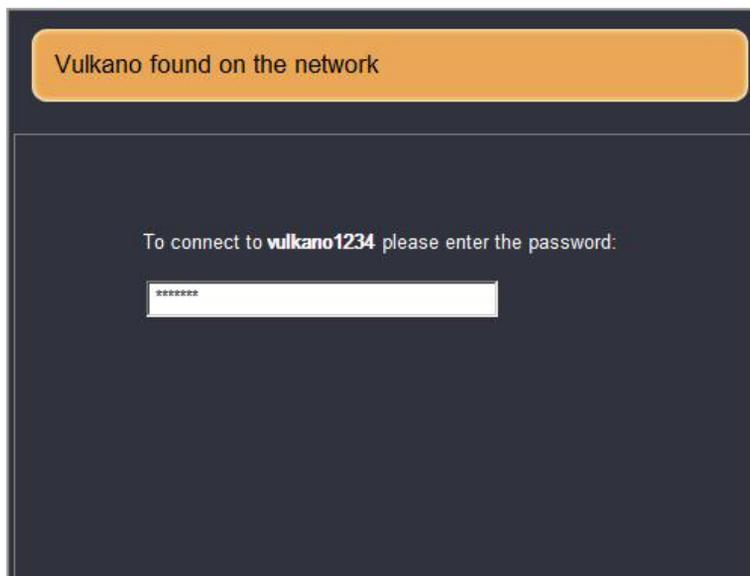
### 参考

ポート開放の手順はお使いのネットワークルーターによって設定方法が異なりますので、詳しくは各メーカーの取扱説明書をご確認ください。

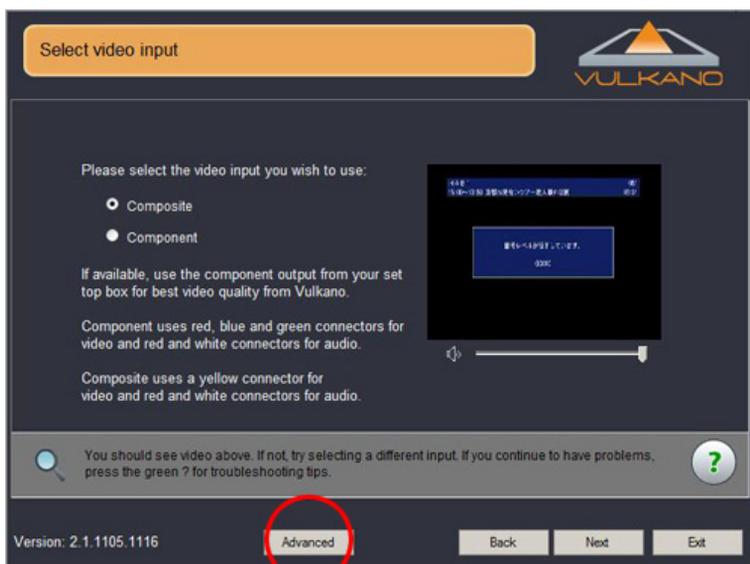
- 各メーカーの取扱説明書ダウンロードサイト
  - ・BUFFALO（バッファロー）  
<http://buffalo.jp/download/manual/seihin-list.php?cat=9>
  - ・COREGA（コレガ）  
<http://corega.jp/support/manual/router.htm>
  - ・NEC  
<http://121ware.com/product/atermstation/manual/>
  - ・PLANEX（プラネックス）  
[http://www.planex.co.jp/support/download/manual\\_wireless\\_baseunit.shtml](http://www.planex.co.jp/support/download/manual_wireless_baseunit.shtml)
  - ・ロジテック  
<http://www.logitech.co.jp/down/soft/router.html>

## 6-2. NTT西日本のフレッツ・光プレミアムをご利用の場合

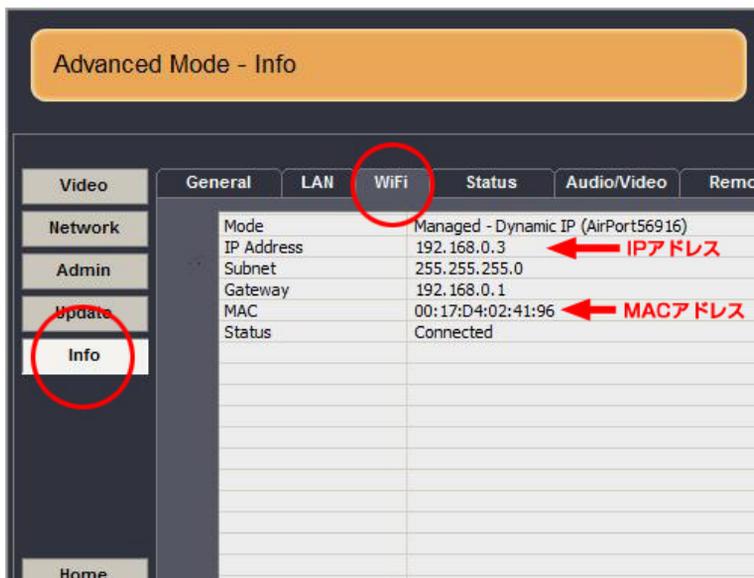
NTT西日本のフレッツ・光プレミアムをご利用されている場合には、加入者終端装置(CTUルーター)にてポートの開放設定を行っていただく必要があります。その設定方法を紹介します。



「Vulkano Setup Wizard」を起動し、左のようにパスワードを入力する画面が表示されたら、初回起動時に設定したパスワードを入力して画面右下の「Next」ボタンをクリックしてください。



左図の画面が表示されましたら、「Advanced」ボタンをクリックしてください。



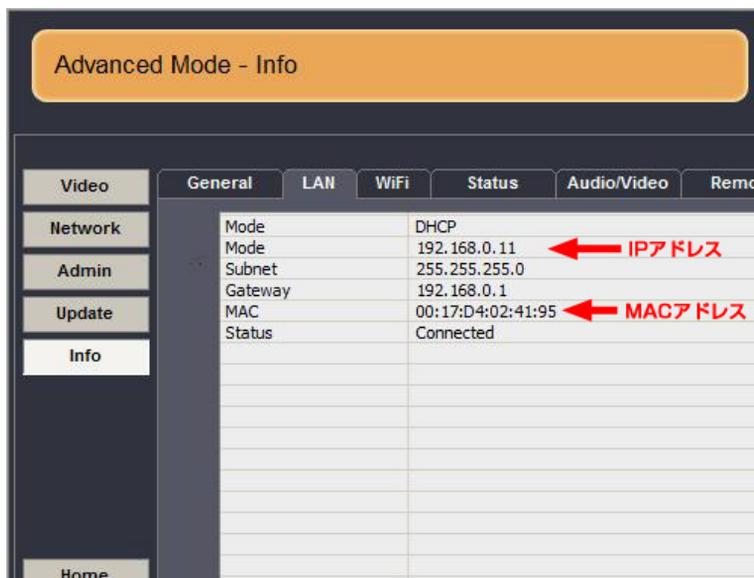
「Info」メニューの「WiFi」タブを選択し、IPアドレスとMACアドレスをメモします。

**用語解説**

IPアドレスとは、ネットワークに接続されたパソコンやネットワーク対応機器に割り振られた識別番号です。

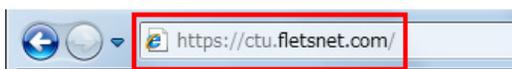
**用語解説**

MACアドレスとは、ネットワーク機器に割り振られた固有の識別番号です。



**ワンポイント**

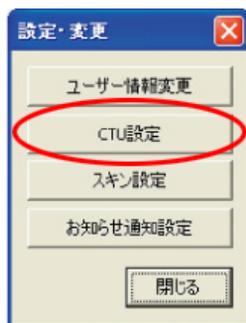
有線LANでも接続する場合は、「LAN」タブを選択し、同じようにIPアドレスとMACアドレスをメモします。



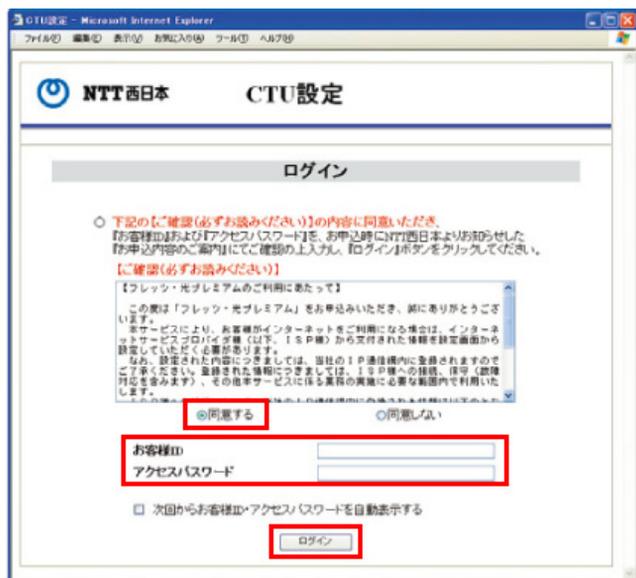
Webブラウザのアドレス欄に

「https://ctu.fletsnet.com/」と入力するか、インストールした「スタートアップツール」のメイン画面から「設定・変更」ボタンをクリックします。





「設定・変更」ウィンドウが開きます。  
「CTU設定」ボタンをクリックし、CTU設定の「ログイン画面」を開きます。



CTU設定のログイン画面が開きますので、「ご確認 (必ずお読みください)」の「同意する」にチェックします。次に、NTT西日本から通知されている「お客様ID」と「アクセスパスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

**ワンポイント**

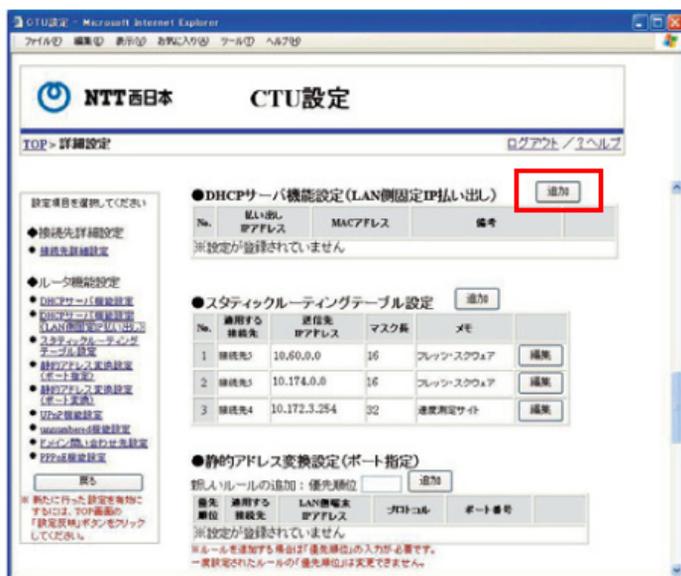
※「お客様ID」と「アクセスパスワード」は、ご契約時の書類「お申込内容のご案内」などでご確認ください。



CTU設定のTOP画面が表示されますので、左のメニューから「詳細設定」ボタンをクリックします。



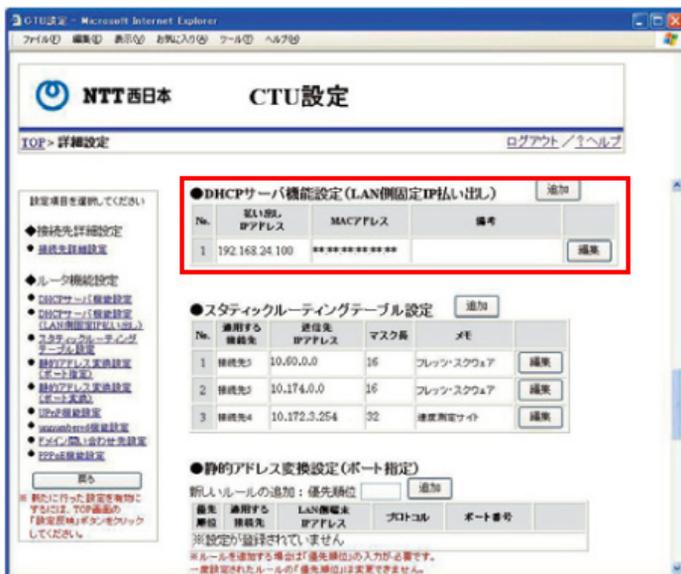
「接続先詳細設定」画面が表示されますので、左のメニューから「DHCPサーバ機能設定（LAN側固定IP払い出し）」をクリックします。



「接続先詳細設定」画面が表示されますので、左のメニューから「DHCPサーバ機能設定（LAN側固定IP払い出し）」をクリックします。



「DHCPサーバ機能設定（LAN側固定IP払い出し）」画面が表示されますので、先ほどメモしておいたIPアドレスとMACアドレスを入力し、「OK」ボタンをクリックします。



再度「DHCPサーバ機能設定（LAN側固定IP払い出し）」画面が表示され、「DHCPサーバ機能設定（LAN側固定IP払い出し）」に登録したIPアドレスとMACアドレスが追加されていることを確認します。

**ワンポイント**

ボルカノフローとネットワークルーターを無線LAN接続と有線LAN接続の両方とも設定したい場合は、「DHCPサーバ機能設定 (LAN側固定IP払い出し)」設定にて、無線LAN、有線LANそれぞれのIPアドレスとMACアドレスの追加を行う必要があります。



CTU設定のTOP画面に戻り、左のメニューの「詳細設定」ボタンをクリックします。



「接続先詳細設定」画面が表示されますので、左のメニューの「静的アドレス変換設定（ポート指定）」をクリックします。



「静的アドレス変換設定（ポート指定）」の「優先順位」に1~40までの任意の数字を入力します。値が小さいほど優先順位が高くなるので、ここでは「1」と入力して「追加」ボタンをクリックします。

**ワンポイント**  
 ボルカノフローは「49177」、「56123」ポートの2つを開放する必要があります。



左図の画面のように各項目を入力していきます。

【適用する接続先】  
 「接続先1」を選択します。

【プロトコル】  
 「TCP」を選択します。

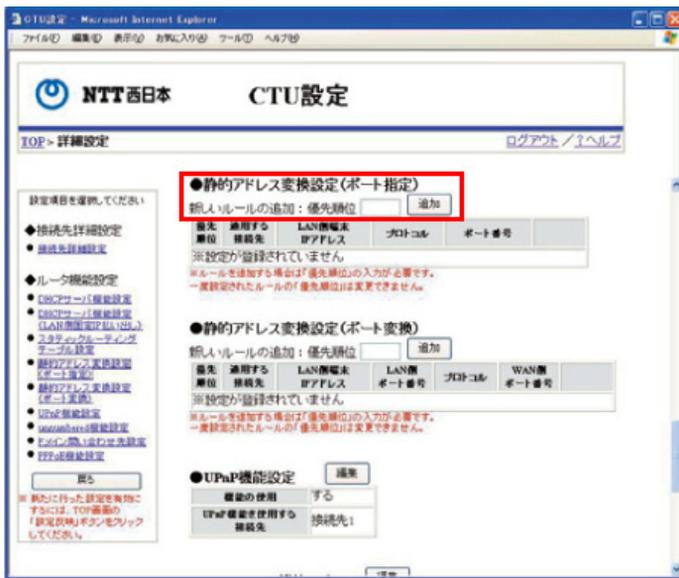
【ポート番号】  
 「ポート番号を入力」をチェックします。

【開始】  
 「49177」というポート番号を入力します。

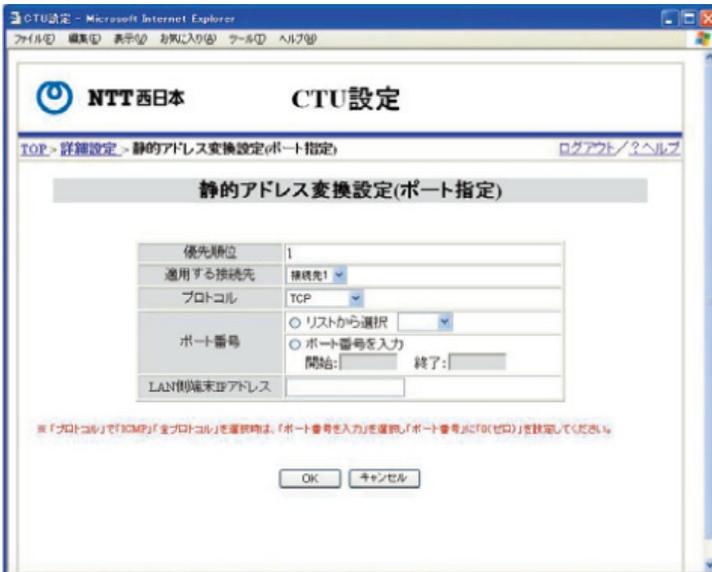
【終了】  
 「49177」というポート番号を入力します。

【LAN側端末IPアドレス】  
 メモしたIPアドレスを入力します。  
 最後に「OK」ボタンをクリックします。

再び設定情報参照画面が表示されますので、同じ手順でポート番号「56123」も以下のように登録します。



「静的アドレス変換設定（ポート指定）」の「優先順位」に1~40までの任意の数字を入力します。値が小さいほど優先順位が高くなるので、ここでは「2」と入力して「追加」ボタンをクリックします。



左図の画面のように各項目を入力していきます。

【適用する接続先】  
「接続先1」を選択します。

【プロトコル】  
「TCP・UDP」を選択します。

【ポート番号】  
「ポート番号を入力」をチェックします。

【開始】  
「56123」というポート番号を入力します。

【終了】  
「56123」というポート番号を入力します。

【LAN側端末IPアドレス】  
メモしたIPアドレスを入力します。

最後に「OK」ボタンをクリックします。



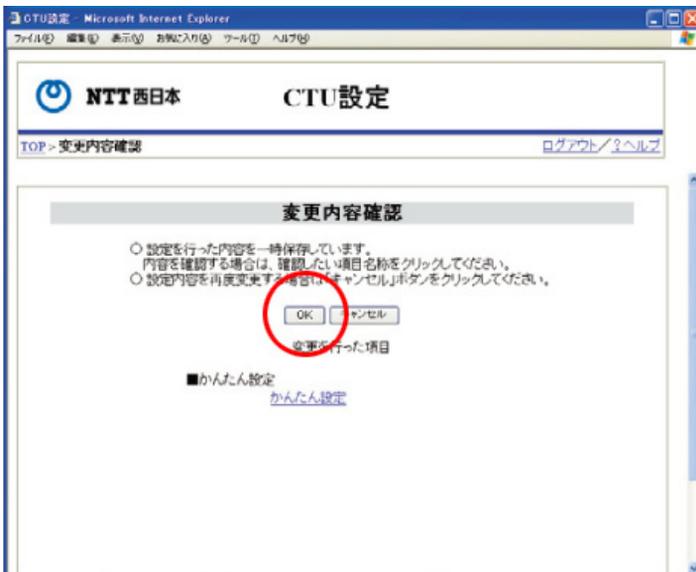
「静的アドレス変換設定（ポート指定）」に登録したポート番号が追加されていることを確認します。次に、左のメニューの「戻る」ボタンをクリックします。

**ワンポイント**

ボルカノフローとネットワークルーターを無線LAN接続と有線LAN接続の両方とも設定したい場合は、「サーバ機能設定(LAN側固定IP払い出し)」設定にて、無線LAN、有線LANのそれぞれのIPアドレスとMACアドレスの追加を行う必要があります。



CTU設定のTOP画面の左のメニューの「設定反映」ボタンをクリックします。

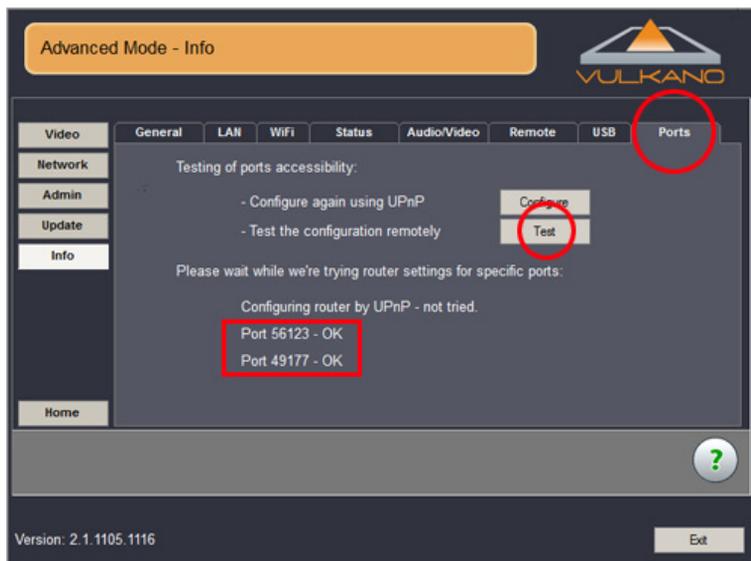


設定内容確認画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



確認ウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックすると、設定内容がCTUに反映されます。以上で加入者端末装置（CTUルーター）の設定は完了です。

※この操作を行うまでは設定内容は反映されませんので、ご注意ください。



ポートが正常に開放されているかを確認するには、「Advanced Mode - Info」画面の「Ports」タブを開き、「Test」ボタンをクリックします。左図のように「OK」のメッセージが表示されれば設定は成功です。

**参 考**

ポート開放の手順はお使いのネットワークルーターによって設定方法が異なりますので、詳しくは各メーカーの取扱説明書をご確認ください。

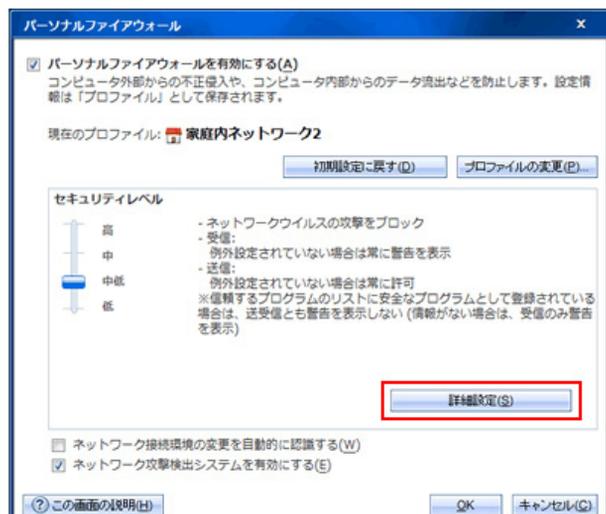
- 各メーカーの取扱説明書ダウンロードサイト
  - ・BUFFALO（バッファロー）  
<http://buffalo.jp/download/manual/seihin-list.php?cat=9>
  - ・COREGA（コレガ）  
<http://corega.jp/support/manual/router.htm>
  - ・NEC  
<http://121ware.com/product/atermstation/manual/>
  - ・PLANEX（プラネックス）  
[http://www.planex.co.jp/support/download/manual\\_wireless\\_baseunit.shtml](http://www.planex.co.jp/support/download/manual_wireless_baseunit.shtml)
  - ・ロジテック  
<http://www.logitech.co.jp/down/soft/router.html>

## 6-3. NTT西日本のフレッツ・光プレミアム、フレッツ光ネクスト、フレッツV6アプリでセキュリティ対策ツールをインストールされている場合

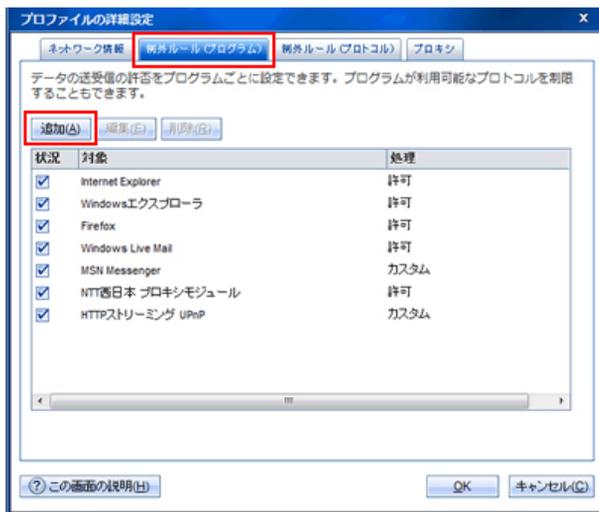
パーソナルファイアウォールの設定にて、Vulkano PlayerとVulkano Setup Wizardのプログラムの通信を許可して頂くと、これらのプログラムを起動したときに毎回接続許可を求められなくなります。その設定方法を紹介します。



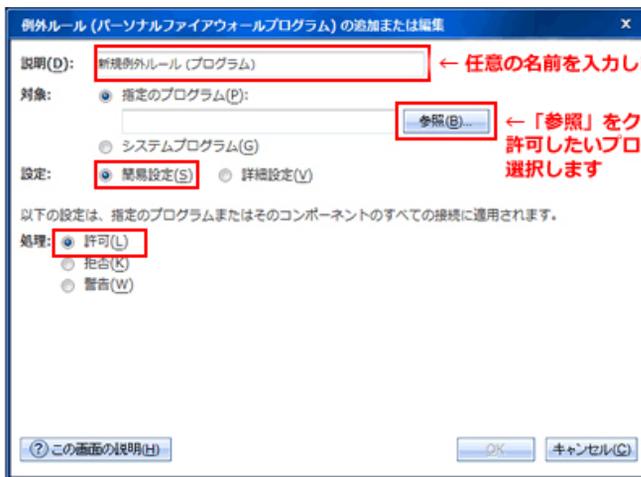
セキュリティ対策ツールのメイン画面を開き、「パーソナルファイアウォール」をクリックします。次に、パーソナルファイアウォールの項目から「設定」をクリックします。



「詳細設定」ボタンをクリックします。



「例外ルール (プログラム)」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックします。



左図の画面のように各項目を入力していきます。

【説明】

任意の名前を入力します。

【対象】

「参照」ボタンをクリックし、「C:\Program Files\Monsoon Multimedia\Vulkano\PC Player\Vulkano PC Player.exe」を選択します。

「C:\Program Files\Monsoon Multimedia\Vulkano\Setup Wizard\SetupWizard.exe」についても同様の手順で設定してください。

【設定】

「簡易設定」を選択します。

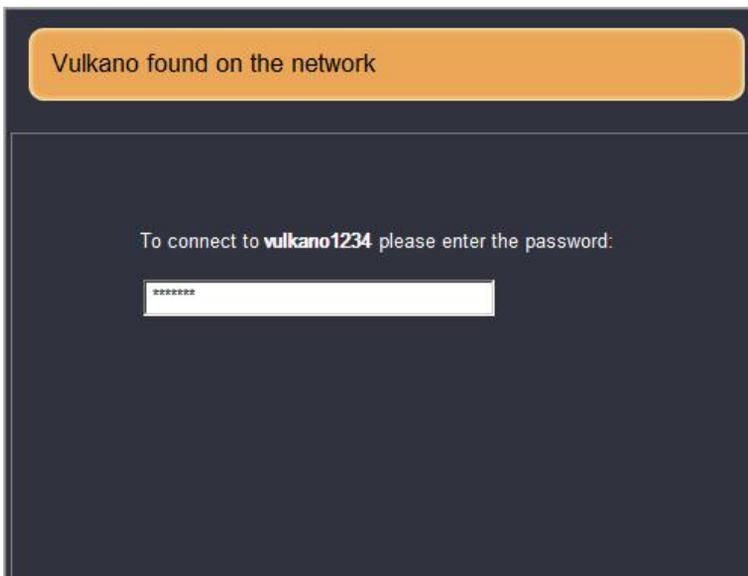
【処理】

「許可」を選択します。

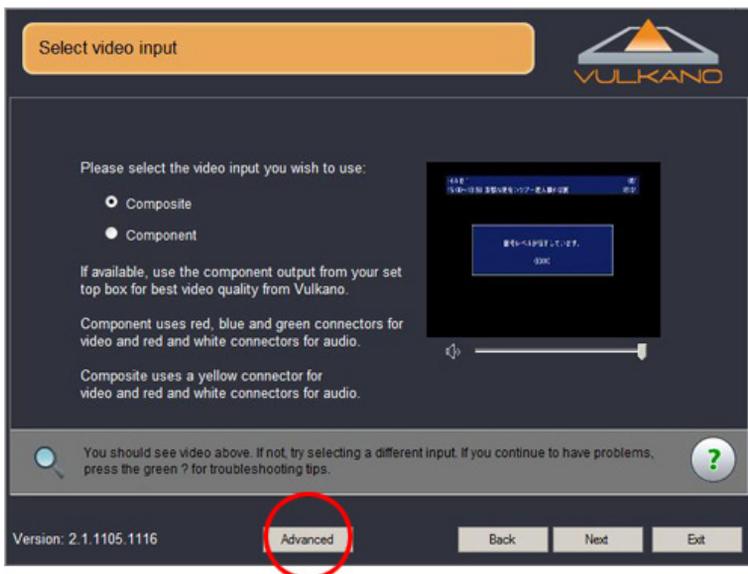
最後に「OK」ボタンをクリックします。以上で設定は完了です。

## 6-4. NTT東日本のフレッツ・光 (VDSLルーター「RV-230SE」) をご利用の場合

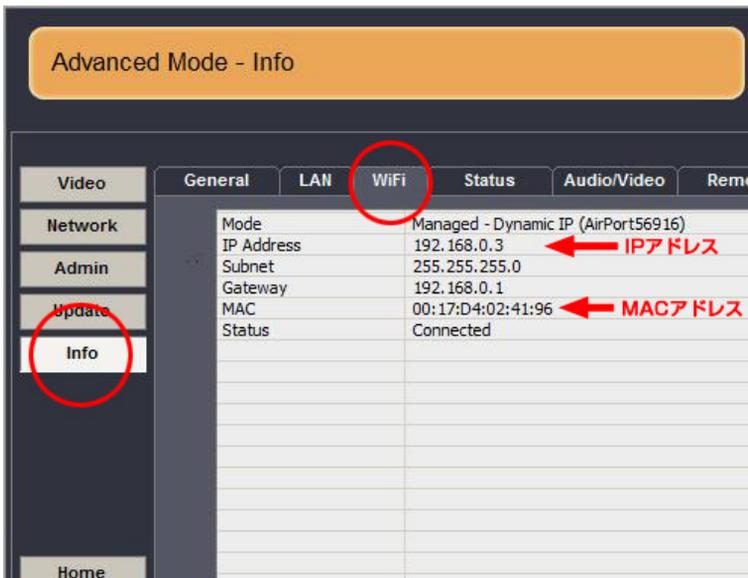
NTT東日本のフレッツ・光をご利用の方でVDSLルーター「RV-230SE」を使用されている方は、手動にてポートの開放設定を行っていただく必要があります。その設定方法をご紹介します。



「Vulkano Setup Wizard」を起動し、左のようにパスワードを入力する画面が表示されたら、初回起動時に設定したパスワードを入力して「Next」ボタンをクリックしてください。



左図の画面が表示されましたら、「Advanced」ボタンをクリックしてください。



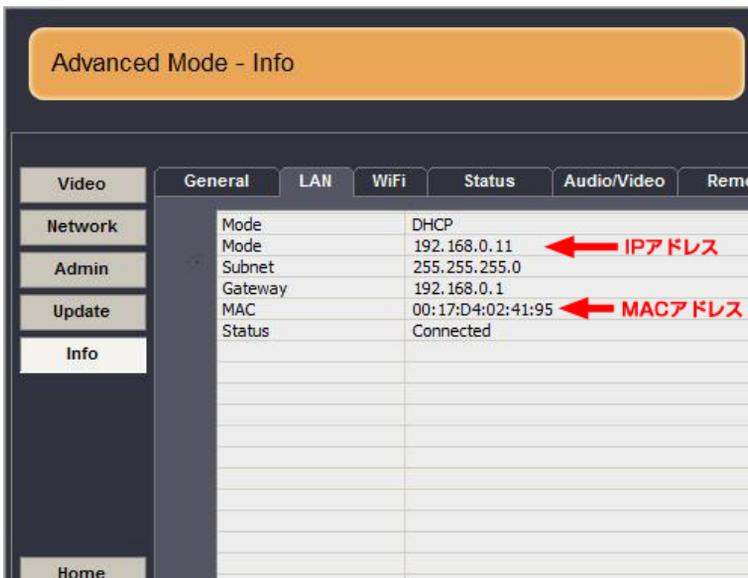
「Info」メニューの「WiFi」タブを選択し、IPアドレスとMACアドレスをメモします。

**用語解説**

IPアドレスとは、ネットワークに接続されたパソコンやネットワーク対応機器に割り振られた識別番号です。

**用語解説**

MACアドレスとは、ネットワーク機器に割り振られた固有の識別番号です。



**ワンポイント**

有線LANでも接続する場合は、「LAN」タブを選択し、同じようにIPアドレスとMACアドレスをメモします。

ファームウェアバージョン 8.13

- + 基本設定
- + 電話設定
- + 無線LAN設定
- 詳細設定
  - DHCPv4サーバ設定
  - セキュリティ設定
  - 静的IPマスカレード設定
  - 静的NAT設定
  - LAN側静的ルーティング設定
  - 高度な設定
- + メンテナンス
- + 情報

### 静的IPマスカレード設定

トップページ > 詳細設定 > 静的IPマスカレード設定

NAPTテーブルの静的登録ができます。IPアドレスのポート番号を固定的に変換する場合に使用します。設定内容を変更または削除するには、番号をクリック設定を追加するには、空欄の番号をクリックしてください。

エントリ番号	優先順位	接続インタフェース名	宛
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

Webブラウザのアドレス欄に「http://ntt.setup/」と入力すると、認証画面が開きます。「ユーザー名」に「user」、パスワードに「user」または任意で設定したパスワードを入力しOKをクリックすると、設定画面が開きます。

「詳細設定」メニューから「静的IPマスカレード設定」を選択すると、右側に設定画面が表示されますので、**エントリ番号「4以降」**を選択してください。

## 静的IPマスカレード設定

トップページ > 詳細設定 > 静的IPマスカレード設定 > エントリ編集

通話中に[設定]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断さ

エントリ番号	4
優先順位	01 (0.使用しない)
接続インタフェース名	メインセッション(ISP1)
宛先IPアドレス	192.168.0.3
変換対象IPアドレス	<input checked="" type="radio"/> 自分のWAN側IPアドレス <input type="radio"/> IPアドレス指定 <input type="text"/>
変換対象プロトコル	TCP
宛先ポート	49177
変換対象ポート	49177

【優先順位】

01～99までの数字を入れます。

【接続インタフェース名】

「メインセッション」を選択します。

【宛先IPアドレス】

あらかじめメモしておいたIPアドレスを入力します。

【変換対象IPアドレス】

「自分のWAN側IPアドレス」を選択します。

【変換対象プロトコル】

「TCP」を選択します。

【宛先ポート】

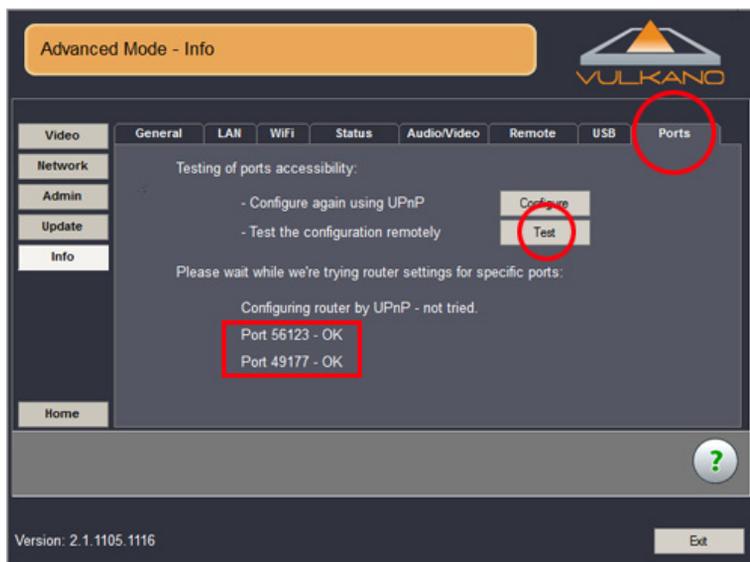
「49177」を入力します。

【変換対象ポート】

「49177」を入力します。

最後に「設定」ボタンをクリックします。同様の手順で、「LAN側ポート番号」「インターネット側ポート番号」に「56123」を入力、「変換対象プロトコル」を「TCPとUDP両方」を選択し、それ以外の項目はポート番号「49177」と同じ内容を入力して「設定」ボタンをクリックします。

以上でルーターの設定は完了です。



ポートが正常に開放されているかを確認するには、「Advanced Mode - Info」画面の「Ports」タブを開き、「Test」ボタンをクリックします。左図のように「OK」のメッセージが表示されれば設定は成功です。

### 参考

ポート開放の手順はお使いのネットワークルーターによって設定方法が異なりますので、詳しくは各メーカーの取扱説明書をご確認ください。

#### ■各メーカーの取扱説明書ダウンロードサイト

・BUFFALO（バッファロー）

<http://buffalo.jp/download/manual/seihin-list.php?cat=9>

・COREGA（コレガ）

<http://corega.jp/support/manual/router.htm>

・NEC

<http://121ware.com/product/atermstation/manual/>

・PLANEX（プラネックス）

[http://www.planex.co.jp/support/download/manual\\_wireless\\_baseunit.shtml](http://www.planex.co.jp/support/download/manual_wireless_baseunit.shtml)

・ロジテック

<http://www.logitech.co.jp/down/soft/router.html>